

令和2年度協働のまちづくり協議会
審査資料

(令和3年度実施分 協働事業)
(令和3年度実施分 市民活動助成事業)

(HP掲載用)

目 次
(プレゼンテーションの順番に掲載しています。)

■令和3年度 協働事業

事業番号	区分	事業名	提案団体・担当課	ページ	添付資料
1	新規	「まつどの介護」プロモーション事業	特定非営利活動法人 SmileResource	1	-
			介護保険課		
2	新規	料理教室を通じた父親の意識改革事業	MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel メゾンイザラおやつラボ * テ ナチュラル	7	-
			男女共同参画課		
3	新規	松戸のイメージ向上のためのコミュニケーション事業	まつどのこもりかた。編集部	13	-
			広報広聴課 シティプロモーション担当室		

■令和3年度 市民活動助成事業

スタート助成					
事業番号	区分	事業名	提案団体	ページ	添付資料
1	新規	松戸市町会PR動画制作事業	できる街プロジェクト	19	-
2	新規	松戸市ご当地アニメ制作事業	超普通スタジオ	23	-
3	新規	松戸市民向けSDGs普及啓発事業	まつど地域活躍塾つながりの会	27	○
4	新規	歌声喫茶で地域高齢者を元気にする事業	元気会	31	-
5	新規	子育てママコミュニケーション事業	にこにこチャイルドサークル	35	-
6	新規	地域横断型まちづくりバーベキュー事業	竹ヶ花昭成会	39	-
7	新規	食のセーフティネットづくり、生活困窮者と食品ロスの問題解消事業	まつどフードバンク	43	○
8	新規	発達障がい・不登校の親の会事業	発達障がい児の子育て会 あんだんて	47	○
9	新規	いきいき体操事業	特定非営利活動法人 アイギス	51	○
10	新規	中金杉きくの会事業	中金杉きくの会	55	-
11	2回目	居場所提供と家出女性保護事業	NPO法人仮り暮らし	59	-
12	2回目	各世代の交流を深め、地域の輪を広げる地域活性化事業	北小金ドリームプロジェクト	63	-
13	2回目	みんなで育て、みんなでつくる 沿道での食べられる景観事業	エディブルウェイプロジェクトチーム	67	-
14	2回目	働くおとなのホッとできる居場所づくり事業	まちなす・Labo/Friends	71	○
15	2回目	冒険山開放に伴う見守り事業	冒険山開放委員会	75	○
16	2回目	坂川水系自然環境向上事業	坂川の花桃を愛する会	79	-
17	2回目	[生きづらさ・ひきこもり]からだとこころに栄養をあたえる場づくり事業	生きづらわーほりプロジェクト	83	-

ステップアップ助成					
事業番号	区分	事業名	提案団体	ページ	添付資料
1	新規	バン格拉ディッシュ文化交流を通じた設立3周年コンサート2021事業	特定非営利活動法人 桜JB FOUNDATION	87	○
2	新規	音楽活動による街の活性化事業	松戸音楽活動同好会	91	○
3	新規	全ての命を大切に、人との繋がりを考え、環境から優しい街づくりをする猫相談会事業	松戸地域猫スタートサポート	95	○
4	新規	プレママ教室事業	ぶぶぶママ大学	99	-
5	新規	親子で安心、子ども達が楽しく育つ居場所づくり事業	なないろのもり	103	○

協働事業
事業番号 1

「まつどの介護」プロモーション事業

特定非営利活動法人 Smile Resource

介護保険課

事業計画

事業名	「まつどの介護」プロモーション事業
団体名	NPO法人SmileResource
事業担当課	介護保険課

事業概要
松戸市の介護制度における介護保険サービスの概要をプロモーションビデオ化することで、介護保険サービスの“見える化”を図り、「より分かりやすく利用しやすいまつどの介護」の促進を図る事業を実施する。

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>松戸市は平成30年に各地域に15カ所の地域包括支援センターが設置され、常にその地域での相談をワンストップ体制で支える仕組みをつくり、その他にも認知症啓発のための活動や近年では専門職を中心にフレイル予防への取り組み等と市内の高齢化及び介護保険制度の動きに合わせ、より活動が活発になっています。</p> <p>課題①「制度の複雑化がもたらす、市民への周知・理解への難しさ」</p> <p>松戸市には地域特性に合わせて多くの資源を準備し手厚い介護支援体制が構築されています。しかし、市民の「まつどの介護」に対する認知度は決して高いものではありません。同時に介護制度もその利便性が良くなるにつれ複雑化されていきます。</p> <p>福祉の時代、介護の時代という大きな地域社会の背景の中、それらの存在をもっと市民に理解し易く伝えることが求められています。</p> <p>課題②「若者の力をもっと活用したい」</p> <p>地域における高齢者支援は高齢者が地域活動を支えている印象があります。情報社会となった現在の社会では、ホームページやSNSといったツールを使い慣れている若者が福祉活動に参画することが求められます。</p> <p>そこで本事業では、より分かりやすくその場に足を運ばなくても介護の情報を収集できるよう、介護保険サービスの概要をプロモーションビデオ（PV）することを提案する。さらにこの事業の取り組みに介護を学ぶ学生や動画制作に興味のある学生らをボランティアに迎え入れることで若者に福祉活動への参画を促していくことを進めたい。</p>
事業の目的	<p>この事業は次のことを目的として進めていきます。</p> <p>(1) 松戸市の介護情報サイトにある介護制度に関する情報ページに動画（PV）を追加。“誰もが、いつでもどこから（自宅、仕事場、市外、病院のベッドの上等）でも手軽に楽しみながら”「まつどの介護」の情報を得られるように“見える化”し活用していただくこと。</p> <p>(2) 市内外に問わず、介護の資格所得を目指している学生や映像や情報メディアに関する勉強をしている学生らに動画制作への協力を仰ぐことで、活動の中で“松戸の介護”について実体験を伴って学べる機会をつくり、福</p>

	社活動に参画してもらうこと。																					
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>介護制度ごとの介護保険サービス概要のPVを種別ごとに作成し、松戸市公式YouTube まっちゃんねるにアップロード後、まつど DE いきいき高齢者サイトへリンクさせる。</p> <p>(PV制作について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公平性を重視するため、担当課の協力のもとに各介護系団体から各種別ごとの事業所を推薦いただき訪問し以下の動画を撮影 <ul style="list-style-type: none"> *事業所の位置(周りの環境など)、外観、特徴、設備、サービス提供風景等 ・撮影スタッフ構成 <ul style="list-style-type: none"> 団体スタッフ1名～2名+学生ボランティア2～3名 *学生は担当課と協力の上、学校へ直接依頼し募集。 ・動作制作に要する機材 <ul style="list-style-type: none"> スマートフォン、カメラ、動画編集ソフト、インターネット接続機器等 ・主に取材・撮影する種別 <ul style="list-style-type: none"> 「まつど DE いきいき高齢者」サイトにある約30種の制度ごとの事業。 *初年度は地域密着型サービスとしての、次のサービスを優先し制作 <ul style="list-style-type: none"> 小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護、 定期巡回・随時対応型訪問介護看護。 ・事業周知のためのチラシ作成(市内介護事業所などへ配布) <p>2 スケジュール</p> <p>*半年を1クールとして全工程を2クールに分けて進めていく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>各介護系団体へ協力要請 ボランティア募集と説明会の開催</td> <td>法人スタッフ及び担当課、それぞれの拠点</td> </tr> <tr> <td>5～8</td> <td>動画企画、制作 月1～2本程度</td> <td>法人スタッフ及びボランティア、撮影事業所</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>企画振り返り 予備月 上映会の企画、開催</td> <td>法人スタッフ・ボランティア及び担当課、事務所</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>各介護系団体へ協力要請 ボランティア募集と説明会の開催</td> <td>法人スタッフ及び担当課、それぞれの拠点</td> </tr> <tr> <td>11～2</td> <td>動画企画、制作 月1～2本程度</td> <td>法人スタッフ及びボランティア、撮影事業所</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>企画振り返り 予備月</td> <td>法人スタッフ・ボランティア及び担当課、事務所</td> </tr> </tbody> </table>	月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4	各介護系団体へ協力要請 ボランティア募集と説明会の開催	法人スタッフ及び担当課、それぞれの拠点	5～8	動画企画、制作 月1～2本程度	法人スタッフ及びボランティア、撮影事業所	9	企画振り返り 予備月 上映会の企画、開催	法人スタッフ・ボランティア及び担当課、事務所	10	各介護系団体へ協力要請 ボランティア募集と説明会の開催	法人スタッフ及び担当課、それぞれの拠点	11～2	動画企画、制作 月1～2本程度	法人スタッフ及びボランティア、撮影事業所	3	企画振り返り 予備月	法人スタッフ・ボランティア及び担当課、事務所
月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																				
4	各介護系団体へ協力要請 ボランティア募集と説明会の開催	法人スタッフ及び担当課、それぞれの拠点																				
5～8	動画企画、制作 月1～2本程度	法人スタッフ及びボランティア、撮影事業所																				
9	企画振り返り 予備月 上映会の企画、開催	法人スタッフ・ボランティア及び担当課、事務所																				
10	各介護系団体へ協力要請 ボランティア募集と説明会の開催	法人スタッフ及び担当課、それぞれの拠点																				
11～2	動画企画、制作 月1～2本程度	法人スタッフ及びボランティア、撮影事業所																				
3	企画振り返り 予備月	法人スタッフ・ボランティア及び担当課、事務所																				
協働の必要性	<p>福祉というテーマ性から市民に信頼していただき、広く伝えるためには公共的な関わりが重要になります。</p> <p>そのためには当法人単独での活動では実現が困難であり、介護分野の各団体からの協力や連携が必ず必要となってきます。各種団体との連携を図るためにも行政との連携・協働を事業として取り組むことが重要になります。</p> <p>このプロジェクトを成功させ松戸市の新しい資源とするためには、行政として力を入れている事業や市民の方に知ってもらいたいことなどを、松戸市を通じてクローズアップすることが必要です。そのためには内容の監修も含</p>																					

	<p>めて、市内の介護を担う担当課（介護保険課）の職員に入っていただく必要があります。</p> <p>そして最後に、この取り組みを地域住民にアナウンスする必要があります。PVを準備しただけでは活用されません。より多くの方に閲覧していただき始めて効果が表れます。地域へアナウンスをするに行政を通じた公共の場などで発信をし、松戸市公式のHPやSNSを活用する必要があります。これらのことから行政との連携・協働を図り実行すること求められます。</p>
事業実施の役割分担	<p>①団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総合企画（取組全体の企画や進捗管理、各関係者・団体との連携等） ・ 動画制作（撮影、編集、学生さんらとの打ち合わせ等） ・ 広報活動（PRチラシの製作、動画制作に関する宣伝等） <p>②担当課（介護保険課）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企画を進めるにあたり必要とされる市役所内の他課や介護系団体、学校等への照会。 ・ 広報まつどへの掲載 ・ 上映会を催す際の会場の提供 ・ 動画制作に関する監修
既存の事業からステップアップした部分	<p>現行の松戸市によるインターネット情報サイトは文字中心の情報サイトとなっているところに動画を追加で組み込むことで、サイト閲覧者が文字と動画から情報を得ることができ、より制度や事業のイメージを掴みやすくすることができる。更に動画を閲覧することで検索物が見える化するため、外出を必要とする窓口相談や見学などの手間が省けるというメリットもある</p>
事業の目標	<p>①介護保険サービスを種別ごとに5～10分程度のPVとして作成 初年度目標数 大よそ30種別中14種別（10～14本程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> * 単純な事業説明から制度説明に関するフィクション的な動画までと事業の特性に合わせて幅広く制作。 * コロナ禍により事業所へ入館しての撮影が困難な場合は、制度利用に関する動画（例：介護保険申請の流れ等）の作成を進めていく。 <p>②介護を学ぶ学生及び動画制作に興味のある学生ボランティアの参画 1クールごとに、4～6名程度を募集 学生には企画より係わってもらい、動画中でのナビゲーター役としての出演や動画編集までと総合的に制作に携わってもらう。</p> <p>③完成したPVの上映会を開催 1回 介護に係わる説明会や研修会等にマッチングさせていただき、作成した動画を上映する（学生には制作スタッフとして参加していただき、動画を紹介してもらう。）</p>
今後の展望	<p>事業開始から3年間をかけ、すべての制度をPV化させていきたい。 1～2年間は制度動画の製作を続け、3年目は生きトレやサロンなどと元気応援クラブや地域独自の活動にカメラを向けた取材そして動画制作を行っていききたい。</p>

事業の予算計画

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 475,345	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 39,800	
	自己資金の合計額 (B)	¥ 39,800	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 358,200	
合計額 (D) = (B+C)		¥ 398,000	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳	
市	使用料および賃借料	¥ 160,000	施設使用料 会議室 3,000円×30回 動画編集ソフト（ライセンス料） 10,000円/年 撮影機材 カメラ（リース代） 5,000円×12ヶ月	
	消耗品費	¥ 98,000	資料作成用インク代 3000円×6セット コピー用紙代 3000円×3箱（15,000枚） 事務用品代 ケースファイル 100円×10個 クリアホルダー 100円×20個 動画編集に関する書籍代 2000円×3冊 スタッフジャンパー 3000円×5着 腕章代 2000円×5個 SDカード代（128M） 3000円×3枚 撮影機材セット 三脚等 9000円×1台 マウスシールド 2000円（10枚）×4個 消毒用アルコール携帯用 3000円（6本）×2セット 非接触型体温計 5000円×1台	
	食糧費	¥ 40,000	撮影時のお茶菓子代（ボランティア用） (1回) 2,000円×20回	
	印刷製本費	¥ 5,000	動画案内のチラシ 5000円（5円×1000部）	
	通信運搬費	¥ 75,000	動画編集用インターネット利用料 月5,000円×12ヶ月 郵便代ゆうメール 180円×50施設 郵便（定形外） 120円×50回	
	委託料	¥ 20,000	チラシデザイン料 20000円×1回	
	対象経費の合計 (E)		¥ 398,000	
	（その他経費）	その他経費の合計額 (F)	¥ 0	
合計額 (G) = (E+F)		¥ 398,000		

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間回数×923円
	会議・打ち合わせ（11回）	152,295 円	5 人 × 3 h × 11 回 × 923 円
	撮影企画準備	121,836 円	3 人 × 2 h × 22 回 × 923 円
	撮影及び編集	182,754 円	3 人 × 3 h × 22 回 × 923 円
	ボランティア説明会	9,230 円	5 人 × 2 h × 1 回 × 923 円
	上映会準備	9,230 円	5 人 × 2 h × 1 回 × 923 円
			人 × h × 回 × 923 円
			人 × h × 回 × 923 円
			人 × h × 回 × 923 円
			人 × h × 回 × 923 円
			人 × h × 回 × 923 円
			人 × h × 回 × 923 円
			人 × h × 回 × 923 円
			人 × h × 回 × 923 円
			人 × h × 回 × 923 円
			人 × h × 回 × 923 円
	合 計 (A)	475,345 円	

協働事業
事業番号 2

料理教室を通じた父親の意識改革事業

MAISON IZARRA Oyatsu labo * T naturel
(メゾン イザラ おやつラボ テ*ナチュレル)

男女共同参画課

事業計画

事業名	料理教室を通じた父親の意識改革事業
団体名	MAISON IZARRA Oyatsu labo*T naturel メゾンイザラおやつラボ*テ ナチュレル
事業担当課	男女共同参画課

事業概要	
父親が主体的に家事・育児へ参加するきっかけづくりと、男女は対等なパートナーであることの理解促進の為に、父親と子どもが共同で料理をつくるイベントと、ワークショップを実施します。	
取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>① 松戸市では、職場、家庭、学校、地域などあらゆる分野で、女性も男性も個性と能力を発揮し、対等なパートナーとして社会に参画し、自立的な生活を営むことを「男女共同参画」として捉えて施策を進めています。しかし、周囲の家族へのヒアリングや、資料（※参照）によると、父親が子どもと一緒に過ごす時間は、その家族が希望する理想の状態とは程遠く、男性の半数以上が1日1時間未満で、少ないというのが現状です。共働き世帯が増えている現状の中、男女が対等なパートナーとして互いに認識し、日々の生活の中で家事・育児を主体的に分担していくことが、今後ますます必要であると考えます。</p> <p>※参考資料「男女共同参画社会に関する市民意識調査」 (平成28年度松戸市) 図表 I-1-(3)-①</p> <p>仕事・家庭生活・地域や個人生活の時間配分【現状】【希望】</p> <p>② コロナ禍においてテレワークが進み、父親が家にいる時間が増えたが、家事育児への母親への負担は変わらないばかりか、むしろ増えているという声も多く聞かれます。それは、男性は家にいても家事分担を行わない。え、昼食の用意などの家事が増えるからです。よって、父親も家族の一員としての必要な役割に気づいてもらうことが重要と考えます。</p>
事業の目的	<p>松戸市男女共同参画プランでも定められている</p> <p>① 「男性が家事・育児に関わることへの抵抗感を減らす」</p> <p>② 「さまざまな分野で女性と男性一人ひとりの能力ををいかす」ために、弊団体の強みである「料理講習」を活用して下記の目的を達成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父親と子どもと一緒に料理をする機会の提供を行うことで、男性が家事・育児に関わるきっかけづくりを行います。 ・料理教室の後にワークショップの時間をとり、父親同士の交流を深めると共に、男女共同参画への男性の理解の促進を図ります。
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>① 父親と子ども向けの料理教室を実施します。(年4回)</p> <p>② 2.5時間程度の調理イベント+ワークショップ30分のプログラムを組み立てます。</p>

- ③ レシピの作成や試作、材料の選定・調達を行います。
- ④ 広報用のチラシ・ポスターを作成します。
- ⑤ イベント当日は、普段はパティシエの仕事を行なっている専門スタッフが調理レクチャーを行い、団体のスタッフがサポート役に回ります。

2 スケジュール

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月	父と子のお菓子づくり体験教室 桜の季節のケーキ	市民会館 料理教室 父親と子ども ワークショップ：外部講師
6月	父と子のお菓子づくり体験教室 抹茶のお菓子	市民会館 料理教室 父親と子ども ワークショップ：外部講師
10月	父と子のお菓子づくり体験教室 ハロウィンモンブラン	市民活動サポートセンター調理室 父親と子ども ワークショップ：外部講師
12月	父と子のお菓子づくり体験教室 クリスマスケーキ	市民活動サポートセンター調理室 父親と子ども ワークショップ：外部講師

*感染症の影響で施設の利用制限が続いた場合、
古民家 隠居屋（南花島中町）で父親のお菓子づくり体験教室、
21世紀の森と広場「木もれ陽の森」バーベキュー場での開催をします。

- ・「どの道具を使うか」といったことから父親と子どもで決めるプログラムで、お互いに学びながら共同作業を楽しむことができ、男性の家事・育児への心象的なハードルを下げます。
- ・特別な道具や材料を使わず、家庭でもおやつや軽食にも利用しやすいメニューで、イベントでは旬の果物とデコレーションで、記念日のケーキにもなるアレンジで仕上げます。
- ・美味しく食事を頂くことが、人生を豊かにし、社会の根っこである家族の絆となります。
- ・調理終了後にはワークショップの時間を設け、父親と子どもの意見交換を通じて、男女共同参画への父親の理解を深めます。

協働の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市と協働する事により、信頼と安心感をもってもらえ、イベントに参加しやすくなります。 ・団体の自己資金が少ないため実施できなかった、父親向けの事業を行うことができます。 ・団体が有するノウハウを活かし、松戸市男女共同参画プランにおいて捉えている課題の解決を図ることができます。 ・市側は、団体の親子向けワークショップの経験等を取り入れ、より効果的な企画を立てることが可能になります。 ・団体側は、市の広報力により、より必要な親子へ向けての広報が可能になります。結果として、効果的なプログラムを、より必要な親子に向けて提供することが可能になります。
事業実施の役割分担	<p>① 団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2.5時間程度の調理イベント+ワークショップ30分のプログラムを組み立てます。 ・レシピの作成や試作、材料の選定・調達を行います。 ・広報用のチラシ・ポスターを作成します。 ・イベント当日は、普段はパティシエの仕事を行なっている専門スタッフが調理レクチャーを行い、団体のスタッフがサポート役に回ります。 <p>② 男女共同参画課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ講師の選定・依頼 ・市内施設へのチラシの配布 ・広報まつど、市ホームページでの周知
既存の事業からステップアップした部分	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりの楽しさ、食の大切さを伝えるだけでなく、社会の根っこである家族の絆になるきっかけづくりを行います。 ・家族で協力することにより、笑顔あふれる食卓にします。 ・父親の男女共同参画への理解と、家事・育児に関する意識を高めます。 ・より必要な人に向けて、事業の提供をします。
事業の目標	<p>① 料理イベントを市内2つの場所で各2回、合計年4回開催し、各回10組20～25名を集客します。【参加人数 40組80名】</p> <p>② 父親の男女共同参画への理解と、家事・育児に関する意識を高めます。(参加者へアンケート調査を実施し、目標達成度を測定します)</p> <p>③ 父親と子どもに、ものづくりの楽しさ、食の大切さを伝えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者は、家庭でもおやつや軽食が作れるようになります。 <p>④ 男性の家事・育児への心象的なハードルを下げます。</p>
今後の展望	<p>地域で男性の家事・育児に関する意識を高めていきます。</p> <p>参加者は父親向け講座やパパサークルに繋げていきます。</p>

事業の予算計画

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	339,664	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	MAISON IZARRA Oyatsu labo * T nature 団体拠出金	¥ 61,252	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (B)	¥ 61,252	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 371,268	
合計額 (D) = (B + C)		¥ 432,520	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳	
	報償費	¥ 60,000	外部講師謝礼(3時間) 15,000円×4回	
負担金の交付対象経費	消耗品費	¥ 203,000	食材 食材1,630円×25×4回 試作材料5,000円×2回分×4回	
	消耗品費	¥ 47,340	資材 クッキングシート800円×10、ラップフィルム550円×16、絞り袋72枚入3,000円×2 ムースフィルム 100枚 2,200円、デザートカップ蓋付75円×100、洗剤 100円×12、スポンジ3個入220円×8、アルコールスプレー(食品用)1,200円×2、ハンドソープ300円×8、キッチンペーパー150円×4、手袋100枚入2,000円×2、ペーパータオル200組 220円×4、保冷剤50個入800円×2	
	消耗品費	¥ 30,800	ポスター用紙 50円×200枚 インク 5200円×4セット	
	印刷製本費	¥ 40,000	チラシ印刷 5円×4,000枚 パンフレット印刷 50円×400部	
	使用料及び賃借料	¥ 21,280	レシピ作成試作、作業確認・共有試作 380円×4時間×8回(レシピ作成試作4回、作業工程確認・注意点共有試作4回) 380円×6時間×4回(イベント4回)	
	通信費	¥ 10,100	ゆうメール 310円×20施設 郵便(定形外) 390円×10回	
	対象経費の合計 (E)		¥ 412,520	
	(その他経費)	食糧費	¥ 10,000	会員の屋食代 500円×5人×4回
交通費		¥ 10,000	会員の交通費 500円×5人×4回	
その他経費の合計額 (F)		¥ 20,000		
合計額 (G) = (E + F)		¥ 432,520		

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×923円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座打合せ(8回)	73,840円	5人×2h×8回×923円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座試作会(8回)	59,072円	2人×4h×8回×923円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座準備(8回)	110,760円	5人×3h×8回×923円
	料理教室を通じた父親の意識改革講座(4回)	55,380円	5人×3h×4回×923円
	チラシ制作	18,460円	1人×5h×4回×923円
	報告書制作	22,152円	2人×3h×4回×923円
			人×h×回×923円
	合 計 (A)	339,664円	

協働事業
事業番号 3

松戸のイメージ向上のための
コミュニケーション事業

まつどのこもりかた。編集部

広報広聴課
シティプロモーション担当室

事業計画

事業名	松戸のイメージ向上のためのコミュニケーション事業
団体名	まつどのこもりかた。編集部
事業担当課	総合政策部 広報広聴課 シティプロモーション担当室

事業概要	
<p>子育て世代前の若者を対象に松戸ゆかりの女性が市内の店舗や場所を紹介、松戸に暮らす人のあたたかさや地域のつながり・住みやすさが感じられる Web サイト「まつどのこもりかた。」を提供し、松戸への関心を高めます。</p>	
<p>取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）</p>	<p>松戸市の「怖い人が多い」「女性の一人暮らしは心配」など治安に対するネガティブな印象を払拭し、「安全な街」、「地域とのつながりが強い街」、「おしゃれな街」を当サイトにてPRします。松戸に興味を持つ機会を増やし、「松戸の暮らし」を共感してもらうことで、20～30歳代の世代が松戸市に「行ってみたい」「住んでみたい」という思いを増幅させるとともに、中・長期的には若年層の地域に対する愛着や転出の抑制、定住へと繋げていきます。</p> <p>【松戸市の課題】</p> <p>①治安が悪い</p> <p>②若者の松戸市に対する関心が低い（若者の関係人口が低い）</p> <p>③若者向けや単身向け（特に女性）に着目した「住みやすさ」や「暮らし」をPRする松戸市の媒体がない</p> <p>※若者向けや単身向け世代へのアプローチ・事業展開が不足している。</p> <p>④おしゃれな街のイメージがない</p> <p>⑤コロナ禍で、地元の地域経済が停滞している</p>
事業の目的	<p>「地域への関係意欲」や「愛着」は、インフラ整備などの物理的な施策だけで解決するのは困難であり、松戸市民の感情や心に訴えかけるようなコミュニケーション戦略が必要だと考えます。当サイトは、<u>若者自身が制作し、若者自らの目線で選んだ、市内の地域に根差した店や人々の会話、風景や雰囲気に着目し、松戸の魅力の掘り起こしを行います。</u>また、協働事業として取り組むことで、広い視野を持って、取材時や広報活動など松戸市が連携している大学・企業・地域団体との交流を図ることができます。「<u>若者の地域に関わる力</u>」の意欲を持続的に高めていくことを目的とします。</p>
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>地元の人々と触れ合う写真やトークを交え、紹介していく超地域密着型 Web サイト「まつどのこもりかた。」を通じて、若者から見た松戸の多様な魅力を発信します。</p> <p>(1) Web サイトの内容</p> <p>○松戸にゆかりのある女性と地元の店舗や場所を映像美と会話を交えて掲載 松戸ゆかりの女性の採用により「女性が1人でも安心して暮らせる」「おしゃれで楽しいライフスタイル」といった部分を見せること、松戸での日常の過ごし方、地元の人との会話を掲載することで、治安等の不安を取り除</p>

き、住みやすい街・明るく楽しい街であることを訴求していきます。

(2) Web サイト (Twitter、Instagram 含む) 公開までの流れ

①情報収集 (随時) → SNS・地域性・店舗状況等を勘案

例えば、

- ・若者世代に支持されている店か (アンケート、口コミ紹介等)
 - ・若い女性が一人で過ごしやすい、くつろげる店、場所か
 - ・地域で親しまれているか (客層、評判など)
 - ・オーナーや店員の人柄は魅力的か
- などから総合的に判断

②店舗下見、撮影交渉 (撮影日の約 1~2 カ月前)、編集会議

③モデル探し&事前説明 (約 1 カ月前)

④撮影事前準備 (機材の準備・設定、メイク・衣装調達など)

⑤撮影 (当日) → 設営、メイク、テスト撮影、料理、
モデル&店長インタビュー、本番撮影

⑥編集会議、インタビューのまとめ

⑦HP 作成・編集 → 内容確認 (店舗、モデル) → 公開

(3) Web サイト「まつどのこもりかた。」の周知

松戸市が発信する広報媒体を活用し、市公式 HP や SNS で本サイト情報を発信するとともに、市内の施設・団体、飲食店にもチラシを配布します。

2 スケジュール (2021 年度) 毎月 1 回更新 (12 回)

地元の人々と触れ合う写真やトークを交え、紹介していく超地域密着型 Web サイト「まつどのこもりかた。」を通じて、若者から見た松戸の多様な魅力を発信します。

	具体的な取り組み	実施体制・対象・場所等
4 月	「まつどのこもりかた。」5 月号	取材・撮影・記事作成
5 月	「まつどのこもりかた。」6 月号	取材・撮影・記事作成
...	(中略) ...	
3 月	「まつどのこもりかた。」4 月号	取材・撮影・記事作成

協働の必要性

下記①~③により子育て世代前の若者の関係人口を増加させ、中・長期的に松戸市への愛着・シビックプライドを醸成し、松戸で接する機会を増やすことで、いずれは松戸市が目指す人口の増加へと繋げていけると考えます。

① 「まつどのこもりかた。」のメリット (信頼度向上)

・市の広報媒体の活用と市内の大学等地域の団体との協力・連携

松戸市が発信する広報媒体を活用して周知を図るとともに、オープンキャンパスや資料請求等での配布物に「まつどのこもりかた。」のチラシを同封していただき、大学だけでなく松戸市全体の良さも知ってもらいたいと考える他、出演いただくモデルも募集できればと考えています。

② 松戸市のメリット

松戸市の主な政策では、子育てや高齢者の世代向けに重点を置いており、若年層や単身世帯を対象を特化したアプローチが足りず、市民ニーズ調査の年齢別回収率にも顕著に表れています。「まつどのこもりかた。」では、サイトのデザインやレイアウト、人の表情や店の外観・商品等を映す写真の質も高く、市ではなかなか実現できないレベルかつ若者目線で Web サイトや SNS を作成・運営しています。公益・公平性の観点から松戸市が特定の事業者に着目していくことは難しいこと、また、次代を担う若者をターゲットとした視点で、若者が自ら作り上げるサイトを立ち上げることは難しいことから、「ま

	<p>つどのこもりかた。」の編集部が主体的に動きつつ協働することで、理想的な形で民間活力を高めていけると考えています。</p> <p>③ 双方のメリット (PR の相乗効果)</p> <p>不動産サイトなどで松戸に興味を持ってもらった方 (検索・閲覧した方) に「まつどのこもりかた。」の情報を誘導し、松戸への引っ越しを検討している方への後押しができます。また、本サイト (Web サイト・Twitter、Instagram) は、これまでにない若者目線での松戸のイメージ向上を図っていくとともに、多くの人の目に触れ、松戸を知ってもらい、松戸の安全性をアピールできること、また、「まつどやさしい暮らしラボ」をはじめとした様々な松戸市の活動と連携していくことで、相乗効果が図れると考えます。</p>
事業実施の役割分担	<p>① 「まつどのこもりかた。」編集部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松戸に住む人々の人柄や人の繋がりが見えるような店の調査・選定・撮影交渉、モデルの募集、スケジュール管理・調整 ・WEB サイト運営 (システム管理、画像等のアーカイブ、メンテナンス等) ・記事作成 (撮影、ヘアメイク、インタビュー、コンテンツ作成等) ・松戸出身メンバーの専門性を活かした役割分担 (広告代理店=WEB サイト運営、全体管理・調整、カメラマン=撮影、美容師=衣装・ヘアメイク) <p>②担当課：シティプロモーション担当室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の広報媒体を活用した WEB サイトの認知拡大 ・協力団体へのアプローチ・紹介、選定するお店や地域のアドバイス ・Web サイト運営の補助 (サイト内容の精査、画像提供など) ・関係機関との連携、インターネットプレスリリースの活用
既存の事業からステップアップした部分	<ul style="list-style-type: none"> ・Web サイト・Twitter、Instagram の定期的な更新、充実、情報の拡散 ・飲食店の紹介だけに留まらず、今後は地元農家の紹介など、松戸での暮らしに着目して幅を広げる (例：矢切ネギを扱うカネキ近藤農園の紹介) ・各地区ごとの魅力発信など、松戸市内全域をカバーしていく
事業の目標	<p>本サイトは「見られること」が指標になり、Twitter や Instagram のアカウントフォロワー数を増やしていくことが関係人口やファンの獲得に繋がるものと考えます (2020 年 8 月末日時点での Twitter のフォロワー数：104 人、Instagram のフォロワー数：366 人)。活動を始めてから 1 年間で両アカウントフォロワー数 1,000 人を目標に、本サイトのファンを増やすことで、結果的に市内外から松戸に愛着を持ち、市域を超えた地域交流も生まれることを目指します。</p>
今後の展望	<p>本サイトは 2020 年 2 月から SNS アカウントの運用のみで限定的な PR に留まっており、若年層のファンは増加しているものの、まだ知名度は高くありません。今後、松戸市と協働で取り組んでいくことにより認知度をアップさせ、サイトをより充実したものにするとともに、掲載価値を高め、長期的にはサイトにスポンサーを得ることで、安定した運営へと繋げていきます。</p> <p>そして、松戸市と「まつどのこもりかた。」編集部が協働し、互いに強みを活かして弱みを補完し合って松戸のまちの魅力を伝えていくことで、「<u>行きたいまち</u>」から「<u>住みたいまち</u>」へ、結果的に若い世帯が松戸を選び、「安心して住み続けていけるまち」、「地域力の強いまち」、「皆で支え合うやさしいまち」として成長していく一助になりたいと考えています。</p>

事業の予算計画

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 520,572	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 80,020	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (B)	¥ 80,020	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 500,000	
合計額 (D) = (B + C)		¥ 580,020	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳	
負担金の交付対象	報償費	¥ 180,000	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル報酬 (打合せ、撮影、インタビューの3日分) 10,000円×12回/年 ・その他出演者報酬 (撮影のエキストラ) 3,000円×20人 	
	消耗品費	¥ 126,000	<ul style="list-style-type: none"> ・チーク、ヘアスプレー、ネイルなどの化粧品類 2,500円×12回/年 ・撮影対象品 (料理、飲み物など) 5,000円×12回/年 ・撮影備品 (トレーシングペーパー、照明資材など) 3,000円×12回/年 	
	印刷製本費	¥ 34,020	<ul style="list-style-type: none"> ・お店専用チラシ印刷 10円×100枚 ・配布用チラシ印刷 3.1円×10,000部 ・紹介用カード印刷 10.1円×200部 	
	使用料及び賃借料		¥ 7,000	サーバー使用料 3,500円×2回/年
			¥ 1,000	ドメイン使用料 1,000円×1年
	委託費	¥ 220,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャラリー増築、ページ修正などのSE委託 30,000円×4回/年 ・配布用・お店用チラシなどの制作物デザイン 50,000円×2回 	
	対象経費の合計 (E)		¥ 568,020	
	その他経費 (対象外)	食糧費	¥ 6,000	モデルお弁当 500円×12人
交通費		¥ 6,000	モデルの交通費 500円×12人	
その他経費の合計額 (F)		¥ 12,000		
合計額 (G) = (E + F)		¥ 580,020		

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間回数×895円
	カメラマン撮影	88,608円	1人×8h×12回×923円
	ヘアメイクモデルセットアップ	88,608円	1人×8h×12回×923円
	全体ディレクター	88,608円	1人×8h×12回×923円
	投稿準備、作業	66,456円	2人×3h×12回×923円
	写真レタッチ	55,380円	1人×5h×12回×923円
	記事編集	33,228円	1人×3h×12回×923円
	お店打ち合わせ	66,456円	3人×2h×12回×923円
	モデル打ち合わせ	33,228円	3人×1h×12回×923円
			人×h×回×895円
		人×h×回×895円	
		人×h×回×895円	
		人×h×回×895円	
合 計 (A)	520,572円		

市民活動助成

事業番号 1

スタート助成

松戸市町会PR動画制作事業

できる街プロジェクト

事業計画書

事業名	松戸市町会 PR 動画制作事業
団体名	できる街プロジェクト

事業概要

町会活動を動画化し、町会活動を PR できるコンテンツを作成する。町会の人や活動を紹介して、楽しく見れる動画を作りたい。「町会ってこういうことをやっているんだ」「実はこんなことをやってくれていたんだ」「面白いことをやっているんだ」という気づきのきっかけにする。

取り組もうとする松戸市のテーマ (課題)	<p>松戸市ではベッドタウンという土地柄や東松戸地区の開発などで転入者が増加している。人口が増加しているものの、町会・自治会としては単身世代や外国籍の方の増加、アパートの増加などで町会加入のアプローチがしにくく、結果として町会加入率が減少しています。その結果、町会活動の維持が困難になり、地域のつながりが薄れ、安心して暮らせる街とは言えなくなってきました。具体的には、町会加入率の低下により、町が汚れ、治安が悪くなる。つながりがないことにより、災害時など困ったときに周囲に頼れる人がいないことにより、情報が伝わらず、2次災害の恐れが生まれます。</p>
事業の目的	<p>この事業の目的は、「松戸市民への町会活動の認知度向上」「松戸市民への町会加入率の低下を防ぐこと」です。このコンテンツだけでは、ただちに町会加入率増加は難しいと思われるため、まずは今後の活動の下準備という名目で「加入率の低下を防ぐこと」を第1目標にし、取り組んでいきます。</p>
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>松戸市町会の方々と協力し、町会活動を PR する動画を制作します。可能であれば、各町会で有名な人(珍しい特技があったりユニークな人)を紹介するなどし、動画を楽しく見てもらいます。</p> <p>A. 作品の打合せと動画内容の検討</p> <p>各町会に連絡を取り、今回の施策を説明・協力の依頼をお願いします。</p> <p>各町会の活動についてのヒアリングを行い、町会の活動・町会独自の内容・町会の有名人(特殊な技能のある人)などの情報収集を行い、動画内容を決定します。</p> <p>【制作関連】印刷用紙購入費・インク購入費(提案書の印刷)</p> <p>B. 記者発表・動画作成協力者の募集</p> <p>A で決定した内容の記者発表を行うと共にホームページにて、動画作成の協力者募集を行います。世代を問わず、多くの松戸市民が関わる形で動画作成を行い、町会自治会を身近なものとして感じられるきっかけを作ります。</p> <p>【制作関連】ポスター印刷費、フライヤー印刷費、イラスト制作費</p> <p>C. 動画撮影</p> <p>A で決定した内容の動画撮影を開始します。町会の方や B で集まったメンバーと協力して、松戸市内で撮影を行います。</p> <p>【制作関連】撮影機材レンタル費(ビデオカメラ・ガンマイク、照明、ボイ</p>

	<p>スレコーダー)、道路使用許可(撮影場所の使用許可)</p> <p>D. 動画制作 Cで撮影した動画の編集・プロの作曲家によるBGM制作・プロのナレーションによる音声収録・音声編集・仕上げ作業を行います。 【制作関連】動画編集費、BGM制作費、音声収録費(スタジオ使用料、音声収録費、ナレーターの出演費、音響機材レンタル費)</p> <p>E. 動画公開 Dで作成した動画の公開・記者発表・プレスリリースを行います。動画はYouTubeなどで公開します。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>A. 町会と打合せ・動画内容の検討</td> <td>A. 構成員 周知対象：町会</td> </tr> <tr> <td>5~3</td> <td>B. 記者発表・動画協力者の募集</td> <td>B. 構成員、町会 周知対象：地域住民</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C. 動画撮影</td> <td>C. 構成員、町会、地域住民</td> </tr> <tr> <td></td> <td>D. 動画制作</td> <td>D. 構成員</td> </tr> <tr> <td></td> <td>E. 動画公開</td> <td>E. 構成員 周知対象：地域住民</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4	A. 町会と打合せ・動画内容の検討	A. 構成員 周知対象：町会	5~3	B. 記者発表・動画協力者の募集	B. 構成員、町会 周知対象：地域住民		C. 動画撮影	C. 構成員、町会、地域住民		D. 動画制作	D. 構成員		E. 動画公開	E. 構成員 周知対象：地域住民
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																	
4	A. 町会と打合せ・動画内容の検討	A. 構成員 周知対象：町会																	
5~3	B. 記者発表・動画協力者の募集	B. 構成員、町会 周知対象：地域住民																	
	C. 動画撮影	C. 構成員、町会、地域住民																	
	D. 動画制作	D. 構成員																	
	E. 動画公開	E. 構成員 周知対象：地域住民																	
既存の事業からステップアップする部分 (ステップアップ助成のみ)																			
事業の目標	E. 動画の再生回数【動画再生回数：合計10,000回】																		
今後の展望	<p>【1年目】市民に認知してもらうフェーズ。団体設立時にプレスリリースで、多くの市民に認知してもらい、参加を促します。</p> <p>【2年目~4年目】より多くの市民に認知してもらうフェーズ。インタビューを作り、町会の取材番組という内容での撮影を開始します。不定期に町会対抗運動会や町会対抗の試合なども行います。また、松戸の有名人や今後期待される若手俳優やアイドル・ゆるキャラにも参加してもらい、話題になるような施策を行います。</p> <p>【5年目以降】全国の人に松戸の町会活動を知ってもらうフェーズ。動画の内容をより洗練させ、テレビ番組やJ:COMでの番組放送を開始します。松戸市内の企業にスポンサー依頼を行い、連携して番組作りを行います。</p>																		

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科 目	金 額	積算内訳
団 体	団体拠出金	¥ 83,000	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 83,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 183,000	

【支出】

	科 目	予算額	積算内訳
助 成 金 の 交 付 対 象 経 費	報償費	¥ 30,000	ナレーション出演費 30,000円×1人
	消耗品費	¥ 6,000	印刷用紙 1,000円×1箱(500枚) インク 2,500円×2セット
	印刷製本費	¥ 12,000	チラシ印刷 10円×1,000枚 ポスター印刷 1,000円×2部
	使用料及び賃借料	¥ 75,000	スタジオ使用料 10,000円×1回 音声収録料 10,000円×1回 道路使用許可料 2,500円×4回 撮影機材レンタル費 30,000円×1回 音声収録用音響機材使用料 15,000円×1回
	委託料	¥ 10,000	BGM制作費 10,000円×1回
対象経費の合計 (D)		¥ 133,000	
そ の 他 経 費	経費	¥ 50,000	メンバー募集イラスト制作費 10,000円×1点 動画編集費 10,000円×4本
その他経費の合計 (E)		¥ 50,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 183,000	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成

事業番号 2

スタート助成

松戸市ご当地アニメ制作事業

超普通スタジオ

事業計画書

事業名	松戸市ご当地アニメ制作事業
団体名	超普通スタジオ

事業概要
松戸市を舞台にしたご当地アニメ「超普通都市マツド伝説」の制作。松戸に縁のある人という条件で主役の担当声優のオーディションを開催。担当声優決定後に、松戸市のご当地アニメを制作。制作したアニメをYouTubeなどで放送し、松戸市の魅力や松戸市のPRを行います。

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>松戸市は2019年SUUMOの「住みたい街ランキング」関東版において50位。国勢調査を基にしたサービスである「生活ガイド.com」において「地域交流」「愛着」という面で低水準にあります。</p> <p>今回私たちは、松戸市のありとあらゆる人たちのつながり作りを行い、みんなでご当地アニメを制作することで、松戸市住みよいまちになるよう、取り組みたいと考えております。</p>
事業の目的	<p>「地域交流」や「愛着」は、身近なテーマや作品に関わるところから生まれると考えます。</p> <p>そのため、誰もが参加できる作品にすること・この活動を継続し、松戸市の様々なテーマに取り組むことを目指して制作していきます。</p> <p>参加の仕組みとしては、メンバーに入ったり、テーマによって協力して制作することはもちろん、声優のオーディションは市民の投票で決める形とし、直接でなくとも間接的に関わることができるなど、様々な方法で関われる仕組みを考えます。</p>
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>松戸市を舞台にしたご当地アニメの制作にあたって、松戸市に縁のある人を募集・声優オーディションを行い、市民の参加を呼び込みます。</p> <p>A. 作品の制作発表・声優オーディションの開催</p> <p>松戸市民へ当企画への参加の呼びかけ&声優オーディション開催について、松戸記者クラブおよびプレスリリースで発表します。</p> <p>声優オーディションにおいて、応募条件は、「松戸に縁があること」とし、新型コロナウイルスの状況によってはすべてオンライン開催を考えています。100人程度の応募を見込めるため、より多くの人に認知してもらえらる企画となります。声優オーディションをすることで、特に若者に効果的なPRにできます。</p> <p>◇制作関連</p> <p>キャラクターデザイン(小学館の漫画家委託)、オーディションサイト構築(Web企業委託)、オーディション用イラスト制作、オーディション用ポスター・フライヤー制作(インク・印刷紙購入含む)を行います。</p> <p>B. PRアニメを制作・公開</p> <p>集まったメンバーと共にPRアニメを制作。YouTubeなどの動画サイト、SNS</p>

	<p>などで公開します。 作品は一般的に見やすい5分程度の作品として制作していきます。</p> <p>◇制作関連 脚本家による脚本制作、音声収録によるスタジオ使用・音響機材レンタル・音響、声優による音声収録、イラスト担当によるイラスト制作、音響担当による BGM・音声制作、動画担当による動画制作・仕上げ作業を行います。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="443 622 1401 1016"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>A. 記者発表・情報公開</td> <td>A. 構成員 周知対象：地域住民、記者、全国の住民</td> </tr> <tr> <td>5～9</td> <td>A. 声優オーディション募集～4次審査</td> <td>A. 構成員、地域住民 周知対象：地域住民、全国の住民</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>B. 動画制作・収録</td> <td>B. 構成員</td> </tr> <tr> <td>11～3</td> <td>B. 動画公開</td> <td>B. 構成員 周知対象：地域住民、全国の住民</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4	A. 記者発表・情報公開	A. 構成員 周知対象：地域住民、記者、全国の住民	5～9	A. 声優オーディション募集～4次審査	A. 構成員、地域住民 周知対象：地域住民、全国の住民	10	B. 動画制作・収録	B. 構成員	11～3	B. 動画公開	B. 構成員 周知対象：地域住民、全国の住民
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など														
4	A. 記者発表・情報公開	A. 構成員 周知対象：地域住民、記者、全国の住民														
5～9	A. 声優オーディション募集～4次審査	A. 構成員、地域住民 周知対象：地域住民、全国の住民														
10	B. 動画制作・収録	B. 構成員														
11～3	B. 動画公開	B. 構成員 周知対象：地域住民、全国の住民														
<p>既存の事業からステップアップする部分 (ステップアップ助成のみ)</p>																
<p>事業の目標</p>	<p>A. この作品を知る人の数を増やす【声優オーディション応募数：100人】 B. 動画の再生回数【動画再生回数：10,000回】</p>															
<p>今後の展望</p>	<p>【1年目】作品を市民に認知をしてもらうフェーズとして、作品の告知・参加の呼びかけ・声優オーディションを行い、市民に認知してもらいます。</p> <p>【2年目～4年目】松戸市の団体・企業との連携フェーズとし、松戸市の様々なテーマに取り組みます。多数の団体・企業と連携した漫画・アニメを制作し、松戸市の魅力をより多くの人に知ってもらう下地を作ります。</p> <p>【5年目以降】全国展開フェーズとして、松戸市や松戸市の企業と連携し、漫画やアニメの制作、テレビ放送を行います。松戸市民に向けた作品・全国に向けた作品を制作していき、松戸市の魅力発信・地域活性化につなげます。松戸のPR と言えば、超普通都市マツド伝説と言われる作品に成長させ、松戸市の情報発信ツールとして成長させます。</p>															

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 133,000	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 133,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 233,000	

【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 100,000	声優出演費 10,000円×9人 キャラクターデザイン(謝礼) 10,000円×1点
	消耗品費	¥ 6,000	印刷用紙 1,000円×1箱(500枚) インク 2,500円×2セット
	印刷製本費	¥ 12,000	チラシ印刷 10円×1,000枚 ポスター印刷 1,000円×2部
	使用料及び賃借料	¥ 35,000	スタジオ使用料 10,000円×1回 音声収録料 10,000円×1回 音声収録用音響機材使用料 15,000円×1回
	委託料	¥ 30,000	オーディション投票ページ制作費(委託) 30,000円×1回
対象経費の合計 (D)		¥ 183,000	
その他経費	経費	¥ 50,000	オーディション用イラスト制作費 10,000円×1点 脚本制作料 10,000円×1点 アニメ用イラスト・動画制作費 20,000円×1点 音楽作業費 10,000円×1点
その他経費の合計 (E)		¥ 50,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 233,000	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成

事業番号 3

スタート助成

松戸市民向けSDGs普及啓発事業

まつど地域活躍塾つながりの会

事業計画書

事業名	松戸市民向け SDGs 普及啓発事業
団体名	まつど地域活躍塾つながりの会

事業概要	
<p>つながりの会は松戸市民を対象として、SDGs を広めていくためのネットワークの構築を図り、スタディツアー、基礎講座の実施、松戸版 SDGs 教材づくりに関する意見交換・議論や、市民フォーラム等を行う。このような取組みを通じて、市民の SDGs に対する意識の醸成と SDGs を松戸の市民社会で促進していくための方向性を検討することを目的とする。</p>	
<p>取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）</p>	<p>持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals、以下 SDGs)は、「誰ひとり取り残さない」をスローガンとし、国連が 193 か国の合意の下に策定された国際目標である。日本政府はこれまで SDGs 推進本部の設置や SDGs の基本方針等を策定し、自治体、企業、学校、活動団体等に SDGs の普及啓発を促している。しかし、一般市民における SDGs の認知度はまだ低く、千葉県、松戸市においても SDGs を意識した取組みの普及啓発が十分に行われているとは言えない。このような状況から、市民が SDGs の様々な現代社会の抱える課題に対して当事者意識を持って進めていくためには、SDGs をボトムアップで進め、市民が SDGs を意識した生活の実践や取組みを促進していく必要がある。つながりの会ではこれを市民としての課題であると捉え、取り組むこととした。</p>
事業の目的	<p>本事業は、市民参加型による SDGs 促進のためのネットワーク形成および能力の向上を図り、市民社会の中で SDGs と私たちの暮らしとの関わりについて理解を促進していくための方向性を検討することを目的とする。</p>
事業内容	<p>1. 事業の内容</p> <p>SDGs を市民レベルにおいて広めていくために、SDGs の意識の醸成や浸透および定着を図るための方向付けの必要があり、下記の活動を行う。</p> <p>(1) <u>SDGs ネットワークの形成</u> 松戸市で活動する NGO/NPO、市民団体等を対象とし、SDGs の勉強会および意見交換会を開催する(2 回)。市民向け SDGs を普及啓発させるための方針や方向性を議論する。</p> <p>(2) <u>スタディツアーを通じた能力の向上</u> SDGs に先進的に取り組んでいる自治体(事業者)のスタディツアー(意見交換、現地視察等、1 回開催)を実施する。</p> <p>(3) <u>松戸版市民向け SDGs 教材に関する意見交換・議論</u> 松戸版市民向け SDGs の教材(市民に分かりやすい実用可能な冊子本等)の開発に向けた方向性(骨子案)を検討する(2 回)。</p> <p>(4) <u>松戸市民向け SDGs 基礎講座の開催</u> つながりの会が 2019 年に参加の松戸市消費生活展(添付資料 1)、2020 年に実施した松戸市民向け SDGs 基礎講座(添付資料 2)の実績と反省をベースに、2021 年も松戸市民へ SDGs の普及啓発を図るため 2030SDGs カードゲームや講座を開催し、受講者自身のアクションプランにつなげる。</p> <p>(5) <u>松戸市民向け SDGs フォーラムの開催</u> 松戸市民に広く知ってもらうための SDGs 記念講演(講師：富永愛氏予定)、松戸市での SDGs 普及啓発の取組み結果に関する活動内容の紹介(講師：松戸栄氏予定)、ワークショップを行う(1 回開催)。また、市民の SDGs に対する声(認知度等)を把握する。</p> <p>※ コロナウイルスの感染拡大状況によっては、(1)～(5)の活動もしくはその一部について、オンラインによる開催も視野に入れて実施する。</p>

	<p>2 スケジュール</p> <p>本事業は、下記のスケジュールで実施する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2021.4</td> <td>キックオフミーティング(1回)</td> <td>実施主体・対象: つながりの会員 場所: 新松戸市民センター(予定)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>(1)SDGs ネットワークの形成 SDGs の勉強会および意見交換会(1回目) 2回目は12月開催</td> <td>実施主体: つながりの会員 対象: 松戸市で活動する NPO や市民団体等 場所: まつど市民活動サポートセンター(予定)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>(2)スタディツアーを通じた能力の向上 (1回)</td> <td>実施主体: つながりの会員 対象: つながりの会員等 協力・場所: 木更津市(予定)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>(3)松戸版市民向け SDGs 教材に関する意見交換・議論(1回目) 2回目は2022年1月開催</td> <td>実施主体: つながりの会員 対象: つながりの会員、本事業で構築したSDGsネットワーク関係者等 場所: 新松戸市民センター(予定)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td rowspan="3">(4)松戸市民向け SDGs 基礎講座の準備・開催 (5回連続講座1回、2時間~2時間半程度/回)※9月~11月の間で実施</td> <td rowspan="3">実施主体: つながりの会員 講師: つながりの会員、本事業で構築した SDGs ネットワーク関係者等 対象: 松戸市民 場所: 新松戸市民センター(予定)</td> </tr> <tr> <td>10</td> </tr> <tr> <td>11</td> </tr> <tr> <td>2022.2</td> <td>(5)松戸市民向け SDGs フォーラムの開催 (1回) 記念講演、活動事例紹介、ワークショップなど</td> <td>実施主体: つながりの会員 対象: 松戸市民 協力: 本事業で構築したSDGsネットワーク関係者等 場所: まつど市民活動サポートセンター(予定)</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	2021.4	キックオフミーティング(1回)	実施主体・対象: つながりの会員 場所: 新松戸市民センター(予定)	5	(1)SDGs ネットワークの形成 SDGs の勉強会および意見交換会(1回目) 2回目は12月開催	実施主体: つながりの会員 対象: 松戸市で活動する NPO や市民団体等 場所: まつど市民活動サポートセンター(予定)	6	(2)スタディツアーを通じた能力の向上 (1回)	実施主体: つながりの会員 対象: つながりの会員等 協力・場所: 木更津市(予定)	7	(3)松戸版市民向け SDGs 教材に関する意見交換・議論(1回目) 2回目は2022年1月開催	実施主体: つながりの会員 対象: つながりの会員、本事業で構築したSDGsネットワーク関係者等 場所: 新松戸市民センター(予定)	9	(4)松戸市民向け SDGs 基礎講座の準備・開催 (5回連続講座1回、2時間~2時間半程度/回)※9月~11月の間で実施	実施主体: つながりの会員 講師: つながりの会員、本事業で構築した SDGs ネットワーク関係者等 対象: 松戸市民 場所: 新松戸市民センター(予定)	10	11	2022.2	(5)松戸市民向け SDGs フォーラムの開催 (1回) 記念講演、活動事例紹介、ワークショップなど	実施主体: つながりの会員 対象: 松戸市民 協力: 本事業で構築したSDGsネットワーク関係者等 場所: まつど市民活動サポートセンター(予定)
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																						
2021.4	キックオフミーティング(1回)	実施主体・対象: つながりの会員 場所: 新松戸市民センター(予定)																						
5	(1)SDGs ネットワークの形成 SDGs の勉強会および意見交換会(1回目) 2回目は12月開催	実施主体: つながりの会員 対象: 松戸市で活動する NPO や市民団体等 場所: まつど市民活動サポートセンター(予定)																						
6	(2)スタディツアーを通じた能力の向上 (1回)	実施主体: つながりの会員 対象: つながりの会員等 協力・場所: 木更津市(予定)																						
7	(3)松戸版市民向け SDGs 教材に関する意見交換・議論(1回目) 2回目は2022年1月開催	実施主体: つながりの会員 対象: つながりの会員、本事業で構築したSDGsネットワーク関係者等 場所: 新松戸市民センター(予定)																						
9	(4)松戸市民向け SDGs 基礎講座の準備・開催 (5回連続講座1回、2時間~2時間半程度/回)※9月~11月の間で実施	実施主体: つながりの会員 講師: つながりの会員、本事業で構築した SDGs ネットワーク関係者等 対象: 松戸市民 場所: 新松戸市民センター(予定)																						
10																								
11																								
2022.2	(5)松戸市民向け SDGs フォーラムの開催 (1回) 記念講演、活動事例紹介、ワークショップなど	実施主体: つながりの会員 対象: 松戸市民 協力: 本事業で構築したSDGsネットワーク関係者等 場所: まつど市民活動サポートセンター(予定)																						
既存事業からステップアップする部分	今回はスタートアップ助成での申請のため、本項目の記載はなし。																							
事業の目標	<p>SDGs の普及啓発を促進の目標と、達成するための指標を下記に示す。</p> <p>(1) <u>SDGs ネットワークの形成</u> 活動目標指標: 10以上の NGO/NPO、市民団体等が本 SDGs ネットワークに参加する。</p> <p>(2) <u>スタディツアーを通じた能力の向上</u> 活動目標指標: 参加した各メンバーから、松戸市で SDGs を普及啓発するためのアイデアが3つ以上出される。</p> <p>(3) <u>松戸版市民向け SDGs 教材に関する意見交換・議論</u> 活動目標指標: 教材の方向性<骨子案>が作成される。</p> <p>(4) <u>松戸市民向け SDGs 基礎講座の開催</u> 活動目標指標: それぞれの参加者が講座で学んだことを活かし、自身の SDGs アクションプランの作成を行う。</p> <p>(5) <u>松戸市民向け SDGs フォーラムの開催</u> 活動目標指標: 50名程度の市民が参加し、ワークショップで松戸版 SDGs を促進していくための方向性に関する意見が集約される。</p>																							
今後の展望	<p>本事業終了後は、松戸市における SDGs の普及啓発をより一層促進させるために、ステップアップ事業として以下の取組みを考えている。</p> <p>松戸市民向け SDGs の教材案作成、SDGs 講座(基礎講座に加え、応用編の講座も実施)、松戸市内におけるスタディツアー、SDGs フォーラムの継続開催、SDGs 関係者との意見交換会の開催等。</p>																							

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科目	金額	積算内訳
団体	講座参加料	¥ 40,000	SDGs基礎講座参加料: 2,000円×20人
	団体拠出金	¥ 6,960	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 46,960	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A + B)		¥ 146,960	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 45,000	SDGs基礎講座講師謝礼 5,000円×5人 SDGsフォーラム講師謝礼 10,000円×2人
	消耗品費	¥ 12,350	SDGs基礎講座 3,000円 模造紙、ペン、ポストイット等一式 SDGsフォーラム 2,350円 模造紙、ペン、ポストイット等一式 非接触式体温計1台 5,000円 新型コロナウイルス感染予防対策 アルコール除菌液等 1,000円×2個 新型コロナウイルス感染予防対策
	食糧費	¥ 1,050	SDGs基礎講座講師用飲料代 150円×5人 SDGsフォーラム講師用飲料代 150円×2人
	印刷製本費	¥ 46,500	キックオフミーティング資料印刷 10円×10枚×10人 SDGsネットワークの形成資料印刷 10円×10枚×20人×2回 スタディツアー資料資料印刷 10円×5枚×10人 市民向け教材に関する意見交換資料 (2回) 10円×10枚×20人×2回 SDGs基礎講座広報チラシ印刷 4円×1000枚 SDGs基礎講座配布用資料印刷 10円×100枚×20人 SDGsフォーラム広報チラシ印刷 4円×2000枚 SDGsフォーラム講座配布用資料印刷 10円×10枚×50人
	使用料及び賃借料	¥ 1,760	SDGsネットワークの形成ミーティング会場 (大会議室) 代 660円 SDGsフォーラム会場代サボセン会場 (多目的ホール) 代 1,100円
	通信費	¥ 800	郵便 (定形外) SDGsフォーラム講師宛 400円×2人
	保険料	¥ 5,000	スタディツアー参加者の行事保険保険料 500円×10人
	対象経費の合計 (D)		¥ 112,460
その他経費	交通費(松戸⇄木更津)	¥ 30,000	スタディツアー交通費 (松戸⇄木更津) 3,000円×10人
	食糧費	¥ 4,500	ネットワークミーティングメンバー用飲料代 150円×15人 市民向け教材に関する意見交換メンバー用飲料代 150円×15人
	その他経費の合計 (E)	¥ 34,500	
合計額 (F) = (D + E)		¥ 146,960	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成
事業番号 4
スタート助成

歌声喫茶で地域高齢者を元気にする事業

元気会

事業計画書

事業名	歌声喫茶で地域高齢者を元気にする事業
団体名	元気会

事業概要	地域高齢者のコミュニティとして、歌や語らいで高齢者を元気づける「健康歌声喫茶」を開催する事業。
------	---

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	高齢化の進行と、一人暮らしの高齢者が増加している現状において、高齢者に対する包括的な対策は、松戸市としても重要な課題である。 私たちの地域でも、同様に高齢化進行と、単居生活高齢者が増加しており、高齢者を元気づける具体的な地域活動が求められている。
---------------------	--

事業の目的	地域高齢者を対象に、主に「健康歌声喫茶」を定期的に企画開催して、その場で歌って頂き、語って頂き、楽しんで頂き、最終的に元気になって頂くことを事業の目的とする。
-------	---

事業内容	1 事業内容		
	① 健康歌声喫茶を開催する。 ※ゲスト： ピアノ・アコーディオン奏者 飯野淳也 等 (飯野先生は 芸大卒 藤山一郎のピアノ伴奏歴あり)		
	② その企画会議を行い、内容を決定する。 ※新企画として、医療関係者講師で健康関連の、講演を検討中。 ※その他 新企画を検討する。		
	③ 歌声喫茶のリード・伴奏をする楽団との交渉・新規開拓を行う。		
	④ 歌詞本の修復作業・会場装飾・看板他 PR 等の準備をする。		
	2 スケジュール		
	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
	4～3月 (毎月)	① 健康歌声喫茶を開催 ② 次回企画会議 ③ 楽団との打合 ④ 修復作業	会員、参加者、テクノ 21 会員 会員 会員

既存の事業からステップアップする部分 (ステップアップ助成のみ)	
-------------------------------------	--

事業の目標	事業の目標	評価対象	目標
	① 健康歌声喫茶の開催	回数	12回
	② 健康歌声喫茶の参加者	延参加者	1,500名
	③ 新規参加者を増やす	参加者数	20名増
	④ 新企画を行う	新企画もの	2本
	⑤ 次回企画会議の継続	回数	12回
今後の展望	<p>① 新規参加者の拡大 参加者は高齢者多く自然減少もあり、他の組織等の連携やPRにより、新規参加者の増員を図る。</p> <p>② 質の向上 協力して頂けるグループの開拓を積極的に行う。</p> <p>③ 歌声喫茶以外の新企画を行う。</p>		

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科 目	金 額	積算内訳
団 体	団体拠出金	¥ 43,000	事業費の一部を団体の会計より拠出
	歌声喫茶 参加料	¥ 450,000	1,500名×¥300
	自己資金の合計額 (A)	¥ 493,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 593,000	

【支出】

	科 目	予算額	積算内訳
助 成 金 の 交 付 対 象 経 費	報償費	¥ 30,000	歌声喫茶ゲスト謝礼金 2回×¥15,000
	消耗品費	¥ 25,000	会場装飾用他 (プリンターインク代 看板用模造紙 ペンキ封筒 他)
	食糧費	¥ 240,000	参加者 延1500名×¥160
	印刷製本費	¥ 40,000	製本費 ¥25,000 参加費用封筒印刷 1,500枚 ¥7,500 他
	使用料及び賃借料	¥ 68,000	歌声喫茶会場費 テクノ21 12回×¥3,600 他 打合せ・作業用会場費
対象経費の合計 (D)		¥ 403,000	
そ の 他 経 費	報償費	¥ 100,000	歌声喫茶ゲストに支払い 10回×¥10,000 (領収書なし)
	食糧費	¥ 40,000	会員 お茶菓子代
	交通費	¥ 10,000	ガソリン代他
	謝礼金	¥ 40,000	差し入れ (協力者にお礼) 等
その他経費の合計 (E)		¥ 190,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 593,000	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成

事業番号 5

スタート助成

子育てママコミュニケーション事業

にこにこチャイルドサークル

事業計画書

事業名	子育てママコミュニケーション事業
団体名	にこにこチャイルドサークル

事業概要
初めての子育てに不安や悩みを抱えている母親・父親が今の子育てをより楽しいものにしていくために、地域の同じ母親・父親と気軽に育児の悩みを共有できるような親子で参加できる企画(お茶会、子育てカウンセラーを呼び勉強会)を実施する。

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>核家族化や女性の企業への社会進出が進んだことにより身近に子育てに関して頼れる機会と親子での近所付き合いの時間が減ってきている。</p> <p>子育てをする環境は、次のような状態になりやすい。</p> <p>① 子育て上の悩み事をどこで解決したらよいかと溜め込んでしまいがちになる。</p> <p>② 保育等学校施設以外での幼児同士の交流の場が少なく、親子のみの時間では地域との関係が希薄になりやすい。</p>
---------------------	---

事業の目的	子育てをする親が育児の不安や悩みを共有し、アドバイスし合える場所を作ることで、地域の子育て世代同士の交流と同時にその子どもたち同士の交流を深めること。また、市内に限らず広範囲にて勧誘活動することで、より多くの方と交流を広げること。
-------	---

事業内容	1 事業内容		
	<p>① 交流目的とする地域の公園で子どもも参加できる活動を行う。</p> <p>② コミュニケーションを目的とするそれぞれの親が先生になり、もの作りをしていくワークショップを行う。</p> <p>③ 節約術、整頓術など、子育て含めた他の家庭の悩み解決のアドバイスをプロ(ファイナンシャルプランナー等)から学ぶお勉強会を行う。</p> <p>④ 子育てカウンセラーを招き、育児方法を相談し合えるお茶会を開く。</p> <p>⑤ FacebookなどのSNSと市の施設の掲示板で広報活動を行う。</p>		
	2 スケジュール		
	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
	4月 9月 2月	① 親子活動	構成員、地域の子育て世代 場所:市内公園
	5月 7月 11月 3月	② ワークショップ	構成員、地域の子育て世代 場所:まつど市民活動サポートセンター

	6月 10月 1月	④お茶会	構成員、地域の子育て世代、子育てカウンセラー 場所:まつど市民活動サポートセンター
	8月 12月	③お勉強会	構成員、地域の子育て世代、ファイナンシャルプランナー 場所:まつど市民活動サポートセンター
	毎月	⑤広報活動	構成員
事業の目標	<p>1 お互いの悩みにアドバイスし合える信頼関係を身近に作ってもらう。 【月1回のイベント人数参加 10人】</p> <p>2 皆で、アイデアを出し合い活動内容に取り組んでいく。 【(例)家庭の節約術を知りたいと要望があれば、FPを呼び勉強会を開催したり、節分時期が近づいたら鬼の仮面や豆入れを作成するなど季節に応じた案を出し合い親子で活動していく。】</p> <p>3 親子のできる限り参加してもらうことで、子どもたち同士もお友達という感覚を作ってもらう。</p>		
今後の展望	<p>地域参加型の活動を継続することで、子育て世代がいつでも連絡の取り合える安心できる場所としたい。また、イベントを多数開催することで、先輩ママパパと次の新しいママパパたちとの交流を深めたい。さらに、対象者を地域限定にせずに、FacebookなどのSNSと市の施設の掲示板で広報し、広範囲で交流活動していきたい。</p>		

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科 目		金 額	積算内訳
団 体	団体拠出金	¥ 24,000	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 24,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 124,000	

【支出】

科 目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 20,000	ポスター用紙、インク 50円×200枚、2500円×4セット
	印刷製本費	¥ 30,000	チラシ印刷、パンフレット印刷 5円×2000枚、50円×400部
	通信費	¥ 10,000	郵便(定形外)講師へ礼状、参加者への郵便 400円×25箇所
	使用料及び賃借料	¥ 24,000	会場使用料 500円×4時間×12回
	報償費	¥ 30,000	外部講師謝礼 6000円×5回
対象経費の合計 (D)		¥ 114,000	
その他経費	交通費	¥ 10,000	会員の交通費 500円×5人×4回
その他経費の合計 (E)		¥ 10,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 124,000	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成

事業番号 6

スタート助成

地域横断型まちづくりバーベキュー事業

竹ヶ花昭成会

事業計画書

事業名	地域横断型まちづくりバーベキュー事業
団体名	竹ヶ花昭成会

事業概要
<p>今般、町内で独立した活動を続けて来た我が竹ヶ花昭成会は、地縁団体の竹ヶ花第一町会と連携した参加者限定型バーベキュー事業から脱皮し、近隣する町内会に参加を呼び掛けることで、住民交流のエリア拡大・親交から、防災を意識した子供・成年参加中心のイベントを加味した「地域横断型まちづくりバーベキュー事業」を開催する。</p>

<p>取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）</p>	<p>近年、竹ヶ花地域においては集合住宅増加、並びに新規転居者による人口増加で、従来からの居住者の交流が希薄となり、次の様な課題解決に取り組む様子を呈している。</p> <p>①「千葉都民」の受皿的役割の町から、生活都市「松戸・竹ヶ花」へ移行。 ②地縁社会の希薄化・多様化・複雑化に対応したまちづくり。 ③行政や市民活動団体の連携で、協働のまちづくり。 ④地域で防災意識を共有し、何時か必ず来る危機に備える ⑤近隣居住者同士の目線で、町内会活動枠を超えた交流の場の実現</p> <p>従来型の枠で仕切られたそれぞれの町内会活動では、町と街をつなぐ「つなぎ役」不在のままであり、地域横断型の交流を求めることは至難の業である。特に防災の視点に立った意識向上は、世代、地域を超えて自助、公助、共助の考えの下、一町内会内の住民だけの情報共有に留まらず、近隣町内会住民に広げた情報の共有・発信が有益と考える。</p>
<p>事業の目的</p>	<p>昭成会は、従来の「地縁型町内会枠」から地域横断・近隣町内会参加の</p> <p>①【縦型から横断型の住民参加型事業】に横串的役割を果たす。 一町内会と連携したイベントから、隣接町内会参加型で更なる交流促進</p> <p>②子供を中心とする成年夫婦参加型で、コミュニティ向上。 世代を超えた老若男女、住民の交流の場。</p> <p>③サポセン連携の実践で、事業推進ノウハウ取得と新たな担い手作り。 を目指し、人と人を繋ぐ協同意識向上に向けた、接着材的役割を果たす「場」を提供したい。</p>
<p>事業内容</p>	<p>1 事業内容</p> <p>①「地域横断型まちづくりバーベキュー事業」を開催。</p> <p>②具体的な活動</p> <p>1) バーベキュー準備、実行、後片付け共同作業で交流増加・向上。 2) 若手親子中心の花火遊びを通じた「火の取り扱い・消化体験」で防災意識向上。 3) 町会所有の防災道具の試し使用訓練と防災リスト・保管場所案内書のクリアファイル同封化で情報提供、持参土産を図る。 4) 幼児向けイベント開催で新成年夫婦呼び込み</p>

	<p>(「操り人形, ジャグリング」パフォーマンス) 出演: 大道芸人「ドレミファそんりゅう」に依頼予定 5) 現行キーマンから次世代成年へ事業計画、実行ノウハウ継承</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>①バーベキュー開催可否討議、 ②責任者、担当者決定。</td> <td>竹ヶ花昭成会会員 場所: 竹ヶ花自治会館</td> </tr> <tr> <td>5月 ~6月</td> <td>①バーベキュー予算化、計画立案 ②隣接町会、協同開催参加申入</td> <td>竹ヶ花昭成会会員 場所: 竹ヶ花自治会館</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>バーベキュー大会ポスター作成・ 印刷、掲示</td> <td>竹ヶ花昭成会会員</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>バーベキュー大会開催</td> <td>対象: 近隣町会住民、 竹ヶ花昭成会会員</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>反省会</td> <td>竹ヶ花昭成会会員</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>近隣町会を含む反省会</td> <td>近隣町会代表 竹ヶ花昭成会会員</td> </tr> </tbody> </table>		実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4月	①バーベキュー開催可否討議、 ②責任者、担当者決定。	竹ヶ花昭成会会員 場所: 竹ヶ花自治会館	5月 ~6月	①バーベキュー予算化、計画立案 ②隣接町会、協同開催参加申入	竹ヶ花昭成会会員 場所: 竹ヶ花自治会館	7月	バーベキュー大会ポスター作成・ 印刷、掲示	竹ヶ花昭成会会員	8月	バーベキュー大会開催	対象: 近隣町会住民、 竹ヶ花昭成会会員	9月	反省会	竹ヶ花昭成会会員	10月	近隣町会を含む反省会	近隣町会代表 竹ヶ花昭成会会員
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																					
4月	①バーベキュー開催可否討議、 ②責任者、担当者決定。	竹ヶ花昭成会会員 場所: 竹ヶ花自治会館																					
5月 ~6月	①バーベキュー予算化、計画立案 ②隣接町会、協同開催参加申入	竹ヶ花昭成会会員 場所: 竹ヶ花自治会館																					
7月	バーベキュー大会ポスター作成・ 印刷、掲示	竹ヶ花昭成会会員																					
8月	バーベキュー大会開催	対象: 近隣町会住民、 竹ヶ花昭成会会員																					
9月	反省会	竹ヶ花昭成会会員																					
10月	近隣町会を含む反省会	近隣町会代表 竹ヶ花昭成会会員																					
既存の事業からステップアップする部分 (ステップアップ助成のみ)																							
事業の目標	2021年度は従来参加者に加え、協同意識の隣接町会の事業参加で、実績を構築「従来参加70名+隣接町会参加30名」を目標とする。																						
今後の展望	<p>①2022年は協同意識の参加町会を3町会迄増やし、130名参加を目指す。 従来の活動中心者から次の担い手へシフトも実践する。 「従来参加70名+隣接参加3町会50名」</p> <p>②昭成会会員の「まつど地域活躍塾」受講で、会員のスキルアップ</p> <p>③スタート助成から、隣接町会拡大・参加者増実践で、次のステップアップ助成へ発展化。更に行政連携の「協働事業提案」に向けて実績を重ね、推進者・連携者・参加者増で「松戸駅東口地区における未来の【夏の継続イベント化】」を目指す。</p>																						

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

区分	科目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 80,000	団体会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 80,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 99,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 179,000	

【支出】

区分	科目	予算額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 35,000	子供向けイベント出演謝礼¥35,000。操り人形、ジャグリング等 (予定：ドレミファそんりゅう)	
	消耗品費	¥ 50,000	食材費 (焼きそば、肉・魚貝類、野菜) @250円×100名 ¥25,000。かき氷@100円×60名 ¥6,000。デザイン印刷・透明ファイル@90円×100枚 ¥9,000。子供向け花火ゲーム@250円×20袋 ¥5,000。グランドシート他、紙食器等消耗品 ¥5,000	
	食糧費	¥ 12,500	飲料@250円×50本 ¥12,500	
	印刷製本費	¥ 7,500	バーベキュー紹介印刷費 30円×250枚	
	保険料	¥ 5,000	行事保険料。「傷害危険担保・保険金」@50円×参加者100名	
	対象経費の合計 (D)	¥ 110,000		
(その他経費)	食糧費	¥ 36,000	会員用食材24,000。飲料12,000	
	使用料及び賃借料	¥ 6,000	ガス・什器代金	
	消耗品費	¥ 27,000	在庫用昭成会PR用透明ファイル300枚	
その他経費の合計額 (E)		¥ 69,000		
合計額 (F) = (D+E)		¥ 179,000		

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成
事業番号 7
スタート助成

食のセーフティーネットづくり、
生活困窮者と食品ロスの問題解消事業

まつどフードバンク

事業計画書

	事業名	食のセーフティーネットづくり、生活困窮者と食品ロスの問題解消 事業							
	団体名	まつどフードバンク							
事業概要									
企業や農家、一般家庭などから余った食材を譲り受けて、生活困窮者、ひとり親、子ども食堂、居場所、グループホームなどに届ける食料支援活動（食のセーフティーネットづくり）									
取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>核家族化が進み、近年ではひとり親世帯が増えつつあります。そのような状況の中で、生活していくのが厳しく満足な食事が食べられない、子どもが家に帰っても一人など、子どもの生活環境が変わってきています。</p> <p>① 支援する子ども食堂が増えてきているが、食材確保に困っている。</p> <p>② 支援する子どもの居場所ができていくが、子どもに与える食べ物や飲み物に困っている。（自費で賄っている）</p> <p>③ 生活困窮者が増えている。</p> <p>④ 食品ロス（食品廃棄）が、企業や一般家庭で出ている。</p>								
事業の目的	余っている食べ物と食料に困っている人を結ぶ仲介役となり、余っている食べ物を持っている支援者と食べ物を必要としている受益者をつなぎ、受益者の自立する力をつける支援をし、生活困窮者と食品ロスをなくす。								
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>① 企業や農家、一般家庭で余った食品や食材を譲り受ける。</p> <p>② フードドライブを開催する。</p> <p>③ 他のフードバンクから食材を譲り受ける。</p> <p>④ 子ども食堂に食材を提供する。</p> <p>⑤ 子どもの居場所に食べ物や飲み物を提供する。</p> <p>⑥ 生活困窮者に食品や食材を提供する。</p> <p>・食品や食材を取に來られない方には郵送または自宅にお届けする。</p> <p>⑦ フードパントリーを開催する。</p> <p>⑧ 子どもを対象としたイベントを開催する。</p> <p>・松戸市が開催するイベントに参加したり、新松戸または東松戸で運営している子ども食堂と共同で3時間程度のイベントを開催する。</p> <p>⑨外部講師による講義の実施（対象：生活困窮者、内容：食と生活）</p> <p>※新規会員や食品・食材を提供して頂いた方にお礼状を送付する。</p> <p>2 スケジュール（別添資料参照）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>① ・ ③ ④ ・ ⑤</td> <td>構成員、企業や農家、松戸市内</td> </tr> </tbody> </table>			実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4月	① ・ ③ ④ ・ ⑤	構成員、企業や農家、松戸市内
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など							
4月	① ・ ③ ④ ・ ⑤	構成員、企業や農家、松戸市内							

	5月	①・③ ④・⑤・⑧	構成員、企業や農家、松戸市内
	6月	①・③ ④・⑤	構成員、企業や農家、松戸市内
	7月	④・⑤・⑥・⑦・⑧	構成員、生活困窮者、松戸市内
	8月	④・⑤・⑥・⑦	構成員、生活困窮者、松戸市内
	9月	④・⑤・⑥・⑦	構成員、生活困窮者、松戸市内
	10月	④・⑤・⑥・⑦・⑧	構成員、生活困窮者、松戸市内
	11月	④・⑤・⑥・⑦・⑧ ⑨	構成員、外部講師、生活困窮者、松戸市内
	12月	②・④・⑤・⑥	構成員、生活困窮者、松戸市内
	1月	④・⑤・⑥・⑦	構成員、生活困窮者、松戸市内
	2月	④・⑤・⑥・⑦	構成員、生活困窮者、松戸市内
	3月	②・④・⑤・⑥・⑧	構成員、生活困窮者、松戸市内
既存の事業から ステップアップ する部分 (ステップアップ 助成のみ)			
事業の目標	<p>① フードバンクの利用者が増える（生活困窮者が減る） 【年間フードバンク利用者：個人40人・団体60団体】 【年間フードパントリー利用者：60組（人）】 【年間イベント参加者：60組（人）】</p> <p>② フードロスが減る（取扱量が増える） 【年間フードロス：提供量2.0トン＝削減量2.0トン】 【年間譲り受けた支援量：1.0トン】 【年間フードドライブ収集量：1.0トン】</p>		
今後の展望 (課題)	<p>フードバンクの活動を継続することで、フードバンクの利用者が増え、子ども食堂や子供の居場所を運営している団体が安定した運営ができるようになる。生活困窮者への支援も増やし自立できるようにしっかりサポートしたい。また、フードロスに関しても、もっと減らすことができる。</p>		

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科目	金額	積算内訳
団体	会費収入	¥ 30,000	3000円×10人=30,000円 (現会員6名、新規会員4名見込み)
	イベント収入	¥ 25,000	5,000円×5回=25,000円 (参加費等200円×25人×5回)
	自己資金の合計額 (A)	¥ 55,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 155,000	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 26,000	イベント&パントリー会場使用料 500円×4時間×5回=10,000円 パントリー会場使用料 2000円×2時間×4回=16,000円
	消耗品費	¥ 12,600	A4コピー紙500枚入1000円、ポスター用紙50円×10枚=500円、プリンター用インク1セット8000円、布テーブル1個100円、フードバンク旗代3000円など
	通信運搬費	¥ 68,100	ゆうメール300円×10か所=3,000円、封筒代10枚入り100円、ゆうパック1000円×40人=40,000円、ガソリン代5000円×5回=25,000円、など
	印刷製本費	¥ 15,000	チラシ印刷5円×200枚×3回=3,000円、リーフレット20円×200部×3回=12,000円、など
	食糧費	¥ 25,500	イベント用仕入代：お菓子3000円×5回=15,000円、飲み物(ラムネ) 70円×30本×5回=10,500円、など
	報償費	¥ 5,000	外部講師謝礼：5000円×1回
	保険料	¥ 2,800	行事保険料：560円×5回=2800円
対象経費の合計 (D)		¥ 155,000	
その他経費			
その他経費の合計 (E)		¥ 0	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 155,000	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成
事業番号 8
スタート助成

発達障がい・不登校の親の会事業

発達障がい児の子育て会 あんだんて

事業計画書

事業名	発達障がい・不登校の親の会事業
団体名	発達障がい児の子育て会 あんだんて

事業概要
松戸市内で、発達障がいや、グレーゾーンの子育て、不登校や不登園、いきしぶり、ホームスクーリングについての情報提供と仲間作り、当事者同士の交流会を目的とする。

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	近年発達障がい認知され、診断やクリニックに繋がりがやすくなっているとはいえ、予約が取れるまで3ヶ月待ち、と言うことも少なくなく、母親の孤独は消えることがない。学齢期になると、障がいのゆえの差別やいじめ、また教員不足などから適切な支援に繋がっていない子も多い。松戸市でも全ての支援学級が特別支援学級の知識を持った職員で構成されているわけではなく、場当たりの支援に困惑している当事者・保護者も多い。当団体では、発達障がいのゆえの悩み、孤独や情報を共有できる場所、仲間作りが必要だと考え、子育ての孤立感をなくすことをテーマに活動する。
---------------------	--

事業の目的	発達障がい児の子育ての大変さに共感し、孤独や情報を共有できる場所、同じような境遇のママ友・仲間作り、子育ての孤立感をなくす。
-------	--

事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>(1) 毎月1回、発達障がいと診断されたお子様・グレーゾーンのお子様・育てにくさを感じるお子様の保護者を対象におしゃべり会を行う。そこでは保護者の最近の悩みを聞いたり、市内の病院・クリニック・療育機関などの情報交換を行う</p> <p>(2) 外部講師による講演会、勉強会 発達障がい・不登校・ホームスクーリング等、スペシャルニーズの子育てに関わる方を対象とした外部講師による勉強会を行う。</p> <p>(3) 親子レクリエーションを行う。 発達障がいと診断されたお子様・グレーゾーンのお子様・育てにくさを感じるお子様とその保護者で参加できるBBQ大会を行い、普段忙しい父親や、祖父母なども交え、他の家庭と交流し親睦を深める。</p> <p>(4) 事業内容についてチラシ制作・配布。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4～3</td> <td>(1) おしゃべり会</td> <td>市内外を問わず構成員、希望者（発達障がいと診断されたお子様・グレーゾーンのお子様・育てにくさ</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4～3	(1) おしゃべり会	市内外を問わず構成員、希望者（発達障がいと診断されたお子様・グレーゾーンのお子様・育てにくさ
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など					
4～3	(1) おしゃべり会	市内外を問わず構成員、希望者（発達障がいと診断されたお子様・グレーゾーンのお子様・育てにくさ					

			を感じるお子様の保護者) を対象 に行う。場所: さくら広場
	4	チラシ作成・送付	市内児童館・保育所などにチラシ を送付する。
	6	(2) 勉強会	構成員、希望者(市内外を問わず発 達障がいと診断されたお子様・グ レーゾーンのお子様・育てにくさ を感じるお子様の保護者) を対象 に行う。場所: 松戸商工会議所中会 議室
	9	(3) 親子レクリエーシ ョン	構成員、発達障がいと診断された お子様・グレーゾーンのお子様・育 てにくさを感じるお子様のとその 保護者を対象に行う。場所: 21世 紀の森(予定)
既存の事業から ステップアップ する部分 (ステップアッ プ助成のみ)			
事業の目標	<p>発達障害の子育ては通常の子育てに比べて大変さが多いので、そこを保護 者同士で励ましあいながら、仲間づくりをする。</p> <p>新規の参加者が令和2年度より2倍になるようにする(10名以上)</p>		
今後の展望	<p>発達に偏りがある子供達の将来が明るくなるよう、支援学級選び、支援学 校選び、不登校・ホームスクーリングなどの選択肢を共有しつつ、高校進 学へ続く情報を切れ間なく提供できるよう、幅広い年齢層の保護者との関 わりをつないでいく。</p> <p>発達に偏りのある子育てが原因で、虐待・いじめ・自殺など、過酷な問題 が隣合わせにある状況と感じる。保護者が悩みを抱えることなく、前進で きるよう、先輩ママ(ペアレントメンター)の役割を担う構成員の育成を 行う。</p>		

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科目	金額	積算内訳
市	団体拠出金	¥ 22,830	事業費の一部を団体の会計より拠出
	会費	¥ 19,200	200円×96人(毎月8名程度)
	自己資金の合計額 (A)	¥ 42,030	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 142,030	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 30,000	外部講師謝礼 1回(勉強会)
	消耗品費	¥ 22,450	印刷用紙 300円×3セット インク 2,500円×3セット 封筒 2,250円(封筒代 7.5円×300枚) 文房具 2,000円(ボールペン150円×10本、付箋500円) 親子レクリエーション費 食材費 7000円 (1,000円×7組予定) 紙皿、紙コップ等 2,800円 (400円×7組予定)
	印刷製本費	¥ 10,000	チラシ印刷 一枚5円×2000枚
	使用料及び賃借料	¥ 32,000	使用料 おしゃべり会会場費 1,000円×12回 勉強会の会場費 10,000円 (松戸商工会議所中会議室) レクリエーションの会場費 3,200円 コンロ等機材レンタル費 6,800円 198円×210施設(保育園・幼稚園等施設)
	通信費	¥ 41,580	郵便(クリックポスト)
	食糧費	¥ 6,000	お茶菓子代 500円×12回(おしゃべり会参加者用)
対象経費の合計 (D)		¥ 142,030	
その他経費			
その他経費の合計 (E)		¥ 0	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 142,030	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成

事業番号 9

スタート助成

いきいき体操事業

特定非営利活動法人 アイギス

事業計画書

事業名	N.P.O アイギス いまいま体操 事業
団体名	特定非営利活動法人 アイギス

事業概要
 梨香台団地、近隣の住まいの方に声をかけて努力をしております。
 日頃の挨拶を大切にしていきます。

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）
 いまいま体操は、椅子に座って出来ます。
 コーチは、参加者の全員の状態を見てくれています。

事業の目的
 いまいま体操に参加した方は、アイギスに顔を出して頂きます。サロンの良さを味わってほしいと願っています。

事業内容

1 事業内容 月2回 第2日曜日 AM.10:00~11:30
 市4ヶ所

講師：野々先生、ボランティアスタッフ、1名
 毎月、ポスターを3ヶ所掲示板に張り付けます。

2 スケジュール

実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月 5月	ス ス	構成員 地域住民 団地集合所
6 7	ス ス	" " "
8 9	ス ス	" " "
10, 11	ス ス	" " "
12 1	ス ス	" " "
2 3	ス ス	" " "
	計 24回	

<p>既存の事業から ステップアップ する部分 (ステップアップ 助成のみ)</p>	
<p>事業の目標</p>	<p>団地集会所では、参加人数が15名位で、余裕 が無く参加出来ないのであります。 広い場所を考えています。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>参加者の中より、ボランティアとして活動してくれ る元気な方を育て、地域を明るくしたいと思 っています。</p>

事業の予算概要

【収入】

(単位: 円)

	科目	金額	積算内訳
団体	団体拠出金	1,000	
	寄付金	1,000	
	体操参加料	72,000	200円 × 15名 × 24回
	自己資金の合計額 (A)	74,000	
市	市民活動助成金 (B)	156,500	
	合計額 (C) = (A+B)	230,500	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	72,000	2,000 × 24 = 48,000 (講師謝礼) 1,000 × 24 = 24,000 (ボランティア謝礼)
	印刷製本費	40,800	10冊 × 816頁 (A4版) × 24回
	消耗品費	980	200 - A3版 15 × 20 = 450, 127.5 × 5 = 637.5
	使用料及び賃借料	14,800	1480 × 24回 梨香台集会所
	保険料	7,200	300 × 24回 (火災保険)
	対象経費の合計 (D)	156,500	
その他経費	食糧費	1,500	100 × 15本 (水自販機用)
	交通費	24,000	100 × 2名 × 24回
	その他経費の合計 (E)	25,500	
	合計額 (F) = (D+E)	182,000	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成
事業番号 10
スタート助成

中金杉きくの会事業

中金杉きくの会

事業計画書

事業名	中金杉まくの会	事業
団体名	中金杉まくの会	

事業概要																									
少しの時間でも和服に手を触れり事に於、優雅な時間を味わう事は、日常生活に変化が生まれます。																									
取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	市役所元氣応援くらぶの1年間の実績があり、元氣高齢者のグループです。																								
事業の目的	中金杉自治会、地域密着をテーマに考えています。特にひとり住まひの方には声をかけよう努力を、しています。																								
事業内容	<p>1 事業内容 日本舞踊を</p> <p>月1回金曜日、14時～16時自治会館(中金杉青年館の2階)にて練習しています。市民劇場で開催する(川口会)には毎回日本舞踊に参加しています。小金宿まつりでは中金杉自治会参加(20名)で(せんいんふんど)毎回賞状賞品を頂いています。市長賞も頂いています。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月 5月</td> <td>3</td> <td>14時～16時 中金杉青年館</td> </tr> <tr> <td>6 7</td> <td>3</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>8 9</td> <td>3</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>10 11</td> <td>3</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>12 1</td> <td>3</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>2 3</td> <td>3</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計36回</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4月 5月	3	14時～16時 中金杉青年館	6 7	3	"	8 9	3	"	10 11	3	"	12 1	3	"	2 3	3	"		計36回	
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																							
4月 5月	3	14時～16時 中金杉青年館																							
6 7	3	"																							
8 9	3	"																							
10 11	3	"																							
12 1	3	"																							
2 3	3	"																							
	計36回																								

<p>既存の事業から ステップアップ する部分 (ステップアッ プ助成のみ)</p>	
<p>事業の目標</p>	<p>日本舞踊という堅苦しい感じですが、体操と同じ です。練習を見て頂く事が一番です。 高齢者のひまもりの方には昔の歌等一緒に聞 いて楽しみたいと思います。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>踊り事が大好なメンバーのため松戸市の行事 市民会館、市民劇場、高齢者のホーム等、慰問に 伺い一緒に楽しみたいと考えています。</p>

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科目	金額	積算内訳
団体	団体搬出金	40,000	7.14-70.0.5の搬出金
	寄付金	14,800	協力者からの寄付金
	自己資金の合計額 (A)	¥ 54,800	
市	市民活動助成金 (B)	100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 154,800	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料及び貸借料	86,400	2,400 × 3 × 12ヶ月 (中金杉青年会館)
	消耗品費	7,800	7-70代 220 × 30個 6,600 2.50-代 ^{14件} 100 × 12ヶ月
		55,000	扇子平拭 5,500 × 10組 (自治会参加者用)
	対象経費の合計 (D)	¥ 149,200	
その他経費	交通費	5,600	700 × 8回
	その他経費の合計 (E)	¥ 5,600	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 154,800	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成
事業番号 11
スタート助成

居場所提供と家出女性保護事業

NPO法人仮り暮らし

事業計画書

事業名	居場所提供と家出女性保護事業
団体名	NPO 法人仮り暮らし

事業概要
日中の居場所が無いと感じる女性たちに低額で長時間滞在できる場所を提供するとともに、家出についての相談を受け、実際に家出した女性を保護し、家庭復帰や自立に向けて生活を共にする。

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>松戸駅はこれらの理由からいわゆる「神待ち」の場として男女の利用が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺にホテルが点在している。 ・ターミナル駅であるため遅い時間帯でも電車で出かけることができる。 <p>特に次の路地は待ち合わせ場所として有名である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイエーと西口公園の間の通り ・松戸駅前のファミリーマートとアトレの間の通り ・松戸駅東口/西口のデッキ上 <p>深夜帯のこれらの周辺は、声掛けを待つ女性や、彼女らを物色する男性を見かけることが多い。</p>
---------------------	--

事業の目的	<p>今晚を過ごす場所のない女性が低額もしくは無料で過ごすことができる場所を提供し、仮り暮らしの家を頼りながら家庭への復帰や自立に向けて身の危険なく生活できるようサポートすること。</p>
-------	--

事業内容	1 事業内容		
	<ul style="list-style-type: none"> ① 相談対応の場も兼ねた居場所を日中から夜間にかけて提供する。 ② 家出女性に仮り暮らしの家を提供し、身の危険から保護する。 ③ 就職に役立つ資格の獲得に向け参考書を用意し、資格取得を支援する。 ④ 各種公的制度や他の団体を紹介し、家庭への復帰や自立を支援する。 ⑤ 提供している居場所の環境整備をする。 		
	2 スケジュール		
	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
	通年で実施する	<ul style="list-style-type: none"> ① 相談対応と居場所の提供 ② 家出女性保護 ③ 資格取得支援 ④ 家庭復帰・自立支援 	<p>実施体制：構成員が実施</p> <p>対象：若年女性</p> <p>場所：松戸市内</p> <p>周知の方法：SNS と HP での告知 およびチラシ配架</p>

既存の事業からステップアップする部分（ステップアップ助成のみ）	
---------------------------------	--

事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 日中の居場所を探す女性が仮り暮らしを利用する。 (月の利用人数：10名程度) ② 家出女性が仮り暮らしの家を利用する。 (月の利用人数：1～若干名) ③ 家出女性が公的制度を利用し、家庭への復帰や自立を達成する。 (年単位で見た場合、1～若干名) ④ 悩みを持つ男女が仮り暮らしに相談し、活路を見出す。 (月の利用人数：1～若干名)
今後の展望	<p>居場所の提供および家出人保護を継続することで、居場所に困る女性が頼れる場所を作りたい。また、仮り暮らしを利用する女性は多くが「生きる意味」を見失っているため、仮り暮らしとかかわる中でそれを見出すきっかけを作りたい。</p>

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

区分	科目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 60,000	事業費の一部を団体の会計より拠出
	寄附金	¥ 1,476,000	正会員より寄付 (123,000円×12か月)
	居場所利用料	¥ 25,000	500円×50人
	自己資金の合計額 (A)	¥ 1,561,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 1,661,000	

【支出】

区分	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 119,000	参考図書 1冊3,500円×10冊 本棚 5,000円×1個 一般書籍 1冊500円×100冊 クッション 3,000円×6個 シュレッダー 7,000円×1 加湿器 4,000円×1個
	食糧費	¥ 36,000	利用者の軽食費用 3,000円×12か月
	通信運搬費	¥ 54,000	利用者の無線LAN使用料 4,500円×12か月
		対象経費の合計 (D)	¥ 209,000
(その他) 経費	家賃(居場所提供のテナント賃料)	¥ 600,000	50,000円×12か月
	光熱水費(居場所提供のテナント賃料)	¥ 120,000	10,000円×12か月
	家賃(シェルター家賃)	¥ 480,000	40,000円×12か月
	光熱水費(居場所提供のテナント賃料)	¥ 252,000	21,000円×12か月
	その他経費の合計額 (E)	¥ 1,452,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 1,661,000	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成
事業番号 12
スタート助成

各世代の交流を深め、地域の輪を広げる地域活性化
事業

北小金ドリームプロジェクト

事業計画書

事業名	各世代の交流を深め、地域の輪を広げる地域活性化事業
団体名	北小金ドリームプロジェクト

事業概要	
地域発展事業として他市・他県にもアピールし、いつ来ても楽しい活気ある街づくりを目指すためのイベント等の開催及び各世代の交流を深め、地域の情報の発信による地域事業の応援。	
取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	松戸市は北小金のように重要文化財が駅の近くに点在する歴史ある街であり、古き良きところは残しつつ、新しいことを行うことによって、楽しい街だということを市内外にアピールし、ベッドタウンとしてだけではなく、子どもが成長した時に仕事をする場の選択肢としての松戸市にしていきたい。
事業の目的	北小金の街の良さを在住者はもちろんのこと、松戸市の中でも検索ワード上位の東漸寺・本土寺がある古き良き北小金を他市・他県にもアピールしつつ、新しいイベントをコロナが収束しなかった場合でも、安全に実施できるものに形をかえて行うことによって、あじさいや紅葉の時期だけでなく、年間を通じ訪れてもらえる楽しい街・活気ある街づくりを目指す。 また、コロナ禍において人々の生活が一変する中、SNSでの発信という形で地域の事業を応援し、SNSを利用しない方には地域情報紙で情報を届けていくことによって地域の繋がりを各世代を超えて広げ、笑顔溢れる街づくりも目指していく。
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>①黄金クリスマスマーケット開催 「黄金イルミネーション」連動企画して、北小金駅南口の AEON 入口前ペDESTリアンデッキや AEON 1 階ロータリー入り口前の道路使用許可を取り、北小金近隣人気店舗のブースを出して、小金の PR を行う。また、2019 年度に実施したクリスマスマーケットで好評いただいた北小金在住の DARAWA さんによる生演奏を予定している。なお、コロナが収束しなかった場合は、北小金駅ペDESTリアンデッキのように駅を利用するために不特定多数の人が往来するところではない場所(検討中)への変更、規模や出店数縮小などの工夫を行い開催したい。</p> <p>②ハロウィンイベント開催 AEON 協力により、北小金周辺店舗でお菓子を用意して子ども達に配布したり、北小金駅南口の AEON 入口前デッキで子ども達の仮装などの披露イベントを行う。仮装時には地元の学生や協力したい若者によりメイクをしてもらい、若者にも街づくりの意識をもってもらおう。</p> <p>③朝市開催 地元飲食店や農家さんを応援するために、朝市を隔月開催する。</p> <p>④ドリームプロジェクトパンフレット発行 北小金ドリームプロジェクトの活動を知ってもらい、地元の方々に周知し協力いただくためのパンフレットの作成・配布</p>

	<p>⑤北小金応援プロジェクトの運営および地域情報紙の制作・配布 SNS上で発信している北小金応援プロジェクトを、SNSを使用していない人たちにも活用していくために地域情報紙を発行することによって、世代等に関係なく、北小金在住の方々により多くお知らせできるようにする。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4～6</td> <td>パンフレット作成</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4～3</td> <td>隔月での朝市開催</td> <td>東漸寺</td> </tr> <tr> <td>4～3</td> <td>北小金応援プロジェクト 紙媒体の制作・発行</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8～9</td> <td>ハロウィンイベント準備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>ハロウィンイベント開催</td> <td>北小金駅前</td> </tr> <tr> <td>8～10</td> <td>イルミネーション準備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11～12</td> <td>イルミネーション</td> <td>北小金駅前</td> </tr> <tr> <td>8～11</td> <td>クリスマスイベント準備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>クリスマスイベント開催</td> <td>北小金駅前</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4～6	パンフレット作成		4～3	隔月での朝市開催	東漸寺	4～3	北小金応援プロジェクト 紙媒体の制作・発行		8～9	ハロウィンイベント準備		10	ハロウィンイベント開催	北小金駅前	8～10	イルミネーション準備		11～12	イルミネーション	北小金駅前	8～11	クリスマスイベント準備		12	クリスマスイベント開催	北小金駅前
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																													
4～6	パンフレット作成																														
4～3	隔月での朝市開催	東漸寺																													
4～3	北小金応援プロジェクト 紙媒体の制作・発行																														
8～9	ハロウィンイベント準備																														
10	ハロウィンイベント開催	北小金駅前																													
8～10	イルミネーション準備																														
11～12	イルミネーション	北小金駅前																													
8～11	クリスマスイベント準備																														
12	クリスマスイベント開催	北小金駅前																													
<p>既存の事業から ステップアップ する部分 (ステップアップ 助成のみ)</p>	<p>スタート助成のため無し</p>																														
<p>事業の目標</p>	<p>他市に隣接している北小金だからこそ、イベントを通して人が集まる活気溢れる街にする。</p> <p>①クリスマスマーケット、ハロウィンイベント及び朝市に延べ 1000 人の一般参加者を呼び込む</p> <p>②北小金応援プロジェクトのフェイスブックグループメンバー数を 700 人にする。</p>																														
<p>今後の展望</p>	<p>①地域の商店会や企業とのコラボレーションでイベントに力を入れる事で、小金の街に人を呼び込み毎年楽しみに待っていてくれるようなイベント作りを目指す。また、小金の在住者だけではなく、他市・他県からもわざわざ来なくなる歴史あるものと新しいものの融合を目指していく。</p> <p>②地域の年長者との交流を深める事で、3世代交流的教育を次世代へ繋げ、どの世代でも住みやすい松戸市のイメージを高めていく。</p> <p>③若い世代にはSNSを通じての情報発信をし、SNSを使用しない世代には地域情報紙によって情報発信をし、あらゆる年代層に様々な情報を届けられるようになる。</p>																														

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

区分	科目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 171,000	事業費の一部を団体の会計より拠出
	イベント出店料	¥ 70,000	@4,000×10店=40,000 年1回(クリスマス) @500×10店×6=30,000 年6回(朝市)
	自己資金の合計額(A)	¥ 241,000	
市	市民活動助成金(B)	¥ 100,000	
合計額(C) = (A+B)		¥ 341,000	

【支出】

区分	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	印刷製本費	¥ 80,000	クリスマスイベントチラシ @5×3,000枚=15,000円 朝市チラシ @5×3,000枚=15,000円 地域情報紙 @5×5,000枚=25,000円 パンフレット 25,000円(デザイン料・印刷代込1000枚)
	報償費	¥ 50,000	クリスマスイベント時生演奏(謝礼) @50,000×年1回=50,000円
	保険料	¥ 15,000	イベント保険加入(クリスマス) @15,000×1回
	消耗品費	¥ 85,000	事務用品、コピー代、イベント時ごみ袋代等 10,000円 Tシャツ作成 @2,500×30枚=75,000円
	使用料及び賃借料	¥ 11,000	道路使用許可申請料 @2,200×5ブース×年1回=11,000円
	対象経費の合計(D)	¥ 241,000	
(その他経費)	備品購入費	¥ 100,000	イルミネーションライト購入及び土台作成
	その他経費の合計額(E)	¥ 100,000	
合計額(F) = (D+E)		¥ 341,000	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が対象となる経費(D)欄の90%以内、自己資金(A)欄が対象経費(D)欄の10%以上であること。
- 2 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成
事業番号 13
スタート助成

みんなで育て、みんなで作る
沿道での食べられる景観事業

エディブルウェイプロジェクトチーム

事業計画書

	事業名	みんなで育て、みんなで作る 沿道での 食べられる景観事業
	団体名	エディブルウェイプロジェクトチーム
事業概要		
沿道の住宅や店舗前のスペースで、野菜やハーブなど食べられる植物を育てる「食べられる景観」をつくり、クラフトでプランターを飾ることで、地域を楽しく歩き、住民の交流のきっかけづくりや関係構築を図る。(97字)		
取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	<p>新型コロナウイルス感染予防のため、外出を控え、対面での交流を減らす等の対策がとられてきました。プロジェクトの中心地域である松戸三丁目東自治会でも各イベントが中止になっています。日本老年学的評価研究は、社会的孤立や閉じこもりが高齢者の健康リスクが高めることを指摘しています。ウィルス対策が長期化する中、いかに社会的距離を保ち、コミュニケーションがとれるかが今後の地域社会において、重要な課題と考えられます。</p> <p>私たちは、2016年より、コミュニケーションを促し、コミュニティの形成に寄与するとされる「食べられる景観」づくりを行なってきました。コロナ禍において沿道での園芸活動は、プランターをみて楽しむことができる、歩行を促し健康の維持に貢献できる、植物が育つ様子を見て、参加者の気配を感じることができると実感しております。</p> <p>沿道での園芸活動、植物を使ったものづくり活動を媒介にした対面・非対面コミュニケーションから、コロナ禍の地域において人のつながりが分断されない健康的な生活環境づくりに取り組みたいと考えています。</p>	
事業の目的	<p>野菜やハーブを用いたユニークな景観づくりと沿道でのコミュニケーション機会の創出から、日常的に挨拶できる近所づきあいを増やすこと。また、育てた植物を使ったものづくりを通じ、地域環境を学ぶ機会や、多世代での交流の機会を作ること。そして、コロナ禍の地域において人のつながりが分断されない地域を目的としています。</p>	
事業内容	<p>1. 事業内容</p> <p>年間を通じて、参加者各家庭での沿道スペースを活用した食べられる植物を育てる園芸活動を行います。また、各講座、ワークショップ(1)(2)(3)は、新型コロナウイルス感染症予防対策として、自治会館での実会場(定員の半数で利用)とオンラインセミナーツールである zoom を利用したオンライン会場の双方を活用し実施予定です。zoom を利用し、自治会館会場と各家庭を中継するため、インターネット設備のない松戸三丁目東自治会館にモバイル Wi-Fi を設置する予定です(6回開催予定・レンタル Wi-Fi 各回1泊2日)。</p> <p>また、各講座は、エディブルウェイの展開プロジェクトである岩瀬ハーブプロジェクト地域でも同時開催予定(岩瀬自治会館 Wi-Fi 設備あり)です。</p> <p>(1) プランターへ苗植え講座開催と植え替え活動(4-5月・9-10月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園芸知識のある会員が講師となり、苗の植え方講座を開き、野菜の育て方を学び、各自がプランターの植え替えを行う。必要に応じ、サポートする。 <p>(2) 子どもと一緒にクラフト・アートワークショップの開催(6・11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートの知識がある会員が講師となり、子ども会と協力し、プランターを飾るクラフトを作るワークショップを開催し、ものづくりを通じた学びの場、交流の場を設ける。 	

	<p>・お手製のクラフトを飾ることや、ものづくりを通して、子どもたちが、活動を知り、地域の環境や景観を学ぶことで、地域愛着を持ってもらえるようにする。また、クラフトで飾られたプランターを見て楽しみ、プランターへ目が行き届くようにし、イタズラ防止を図る。</p> <p>(3) ハーブクラフト講座 (7・12月)</p> <p>・知識がある会員が講師となり、大人向けにハーブを活用した講座を行い、ハーブの使い方、楽しみ方を学ぶことで、活動への意欲向上と交流を進める。</p> <p>(4) 毎月の活動を千葉大学学生有志グループみどりの回廊ワーキンググループが発行する瓦版に掲載し、参加者に配布する。</p> <p>(5) コミュニケーションと振り返りのため、収穫が終わった8・2月に参加者へ各シーズンの振り返りアンケートを実施し(メール・郵送)、取りまとめたレポートを作成し、参加者同士のコミュニケーション、情報共有を図る。</p> <p>(6) 地域住民へ報告会(3月)を開催し、みんなで振り返りをし、次年度の目標をたて、新規参加者の巻き込みを図り、地域の活動として定着を目指す。</p> <p>2. スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4-5月・9-10月</td> <td>講座準備、告知、新規参加者・学生メンバー募集、(1)苗植え講座、植え替え</td> <td>①実施体制：会員有志、②対象：EW参加者、③場所：松戸三丁目東自治会館、岩瀬自治会館、zoom</td> </tr> <tr> <td>6月・11月</td> <td>(2)クラフト・アートワークショップ開催</td> <td>①会員有志、②EW参加者、地域の小学生、③自治会館、zoom</td> </tr> <tr> <td>7月・12月</td> <td>(3)ハーブ講座開催</td> <td>①会員有志、②EW参加者、地域住民、③自治会館、zoom</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>振り返り・レポート作成</td> <td>①会員有志、②会員</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>(5)地域での報告会</td> <td>①会員有志、②EW参加者、地域住民、③自治会館、掲示板</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4-5月・9-10月	講座準備、告知、新規参加者・学生メンバー募集、(1)苗植え講座、植え替え	①実施体制：会員有志、②対象：EW参加者、③場所：松戸三丁目東自治会館、岩瀬自治会館、zoom	6月・11月	(2)クラフト・アートワークショップ開催	①会員有志、②EW参加者、地域の小学生、③自治会館、zoom	7月・12月	(3)ハーブ講座開催	①会員有志、②EW参加者、地域住民、③自治会館、zoom	2月	振り返り・レポート作成	①会員有志、②会員	3月	(5)地域での報告会	①会員有志、②EW参加者、地域住民、③自治会館、掲示板
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																	
4-5月・9-10月	講座準備、告知、新規参加者・学生メンバー募集、(1)苗植え講座、植え替え	①実施体制：会員有志、②対象：EW参加者、③場所：松戸三丁目東自治会館、岩瀬自治会館、zoom																	
6月・11月	(2)クラフト・アートワークショップ開催	①会員有志、②EW参加者、地域の小学生、③自治会館、zoom																	
7月・12月	(3)ハーブ講座開催	①会員有志、②EW参加者、地域住民、③自治会館、zoom																	
2月	振り返り・レポート作成	①会員有志、②会員																	
3月	(5)地域での報告会	①会員有志、②EW参加者、地域住民、③自治会館、掲示板																	
<p>既存の事業からステップアップする部分</p>																			
<p>事業の目標</p>	<p>・新しい参加者を募り、プランターの設置場所を増やし、沿道での緑のつながりが、より見えるようにする。(新規10箇所・20個プランター目標)</p> <p>・コロナ禍で、人が集まる機会が減った地域において、沿道で見て楽しむ、歩く楽しみを提供する。</p> <p>・植物を用いたイベントの開催を行い、学びや交流の場づくりを通して、活動を継続するための知識共有や組織づくりを進める。</p> <p>・年度の最後に、地域住民全体へ1年の活動報告、レポート掲示板掲載を行い、意見交換、新規参加者を募集し、より良い地域活動の継続を目指す。</p> <p>・毎月発行する瓦版へ活動報告を掲載し、地域の皆さんに賛同いただけるように、情報発信にも力を入れる。</p>																		
<p>今後の展望</p>	<p>・食べられる景観づくりを地域の景観、活動として定着させる。</p> <p>・コロナ禍においても人のつながりが分断されない健康的な生活環境のあり方を活動を通して地域の皆さんと考えていく。</p> <p>・植物を活用した活動を定期的、継続的なイベントとして定着させる。イベントの企画運営へも参加者や住民が積極的に参加できるようにしたい。</p>																		

事業の予算概要

【収入】

(単位:円)

	科目	金額	積算内訳
団体	イベント(WS・講座)参加費	¥ 24,000	(200円×20人)6回開催 (植え替え講座、クラフト・アートWS、ハーブ講座)各2回
	団体拠出金	¥ 18,000	対象事業費の一部及び対象経費を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 42,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額(C)=(A+B)		¥ 142,000	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	消耗品費	¥ 85,600	・フェルトプランター 500円*20個 10000円 ・土再生材 2L 250円*100袋 25000円 ・野菜苗 200円*30個 6000円 ・タネ 300*12袋 3600円 【クラフト・アートWS】 ・クラフト・アート材料 8000円*2回 16000円 (フェルト、ボンド、やすり、ペン、布材、インク類) 【ハーブを楽しむ講座】 ・花材 4000円*2回 8000円 ・道具(はさみ・ホットボンド)5セット 2000円 【瓦版印刷】 ・プリンタートナー4色セット 15,000円
	使用料及び賃借料	¥ 30,000	・自治会館使用料 2000円 * 6回 12,000円 ・zoom WS6回(6ヶ月)2000円/月*6 12,000円 ・モバイルWi-Fi(1泊2日 * 6回) 1000円*6回 6000円
	食糧費	¥ 18,000	・参加者お茶代(150*20人) * 6回
	通信運搬費	¥ 8,400	・振り返りアンケート回収用切手 84円*50世帯*2回(8・2月)
対象経費の合計(D)		¥ 142,000	
その他経費			
	その他経費の合計(E)	¥ 0	
合計額(F)=(D+E)		¥ 142,000	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が対象となる経費(D)欄の90%以内、自己資金(A)欄が対象経費(D)欄の10%以上であること。
- 2 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成
事業番号 14
スタート助成

働くおとなのホッとできる居場所づくり事業

まちなす・Labo/Friends

事業計画書

事業名	働くおとなのホッとできる居場所づくり事業
団体名	まちなす・Labo/Friends

事業概要

ストレス社会で頑張っている大人を対象に、看護師と気軽にココロと体の健康相談ができ、まちの中で「保健室」としての機能を持つ、癒しと安心が得られる居場所を提供。看護の力を活かし、地域に密着した形でコミュニティ作りをしながら、健康に関する情報発信、イベントを実施する。

取り組みようとする松戸市のテーマ（課題）	<p>少子高齢化が進んでいく今、「健康寿命の延伸」を見据えて、「いつまでも元気でいられるための暮らし作り」「病気の予防」を実践していくことが課題であり、土台となるのは地域である。松戸市でも以下のような課題が存在しているが、それに加え、今、新型コロナウイルス感染によるテレワークの拡張等により、ただでさえメンタルヘルスの問題を抱えがちな現代人に負の影響を与えている。ワーク・ライフ・バランスを乱し、孤独感や疎外感といったメンタルヘルスの問題を招きやすい状況ともいえる。Microsoft Newsによるとテレワークによって約 19%が孤独を感じ、17%がコミュニケーションに不便を感じているとのこと。</p> <p>＜松戸市の課題＞</p> <p>①主要死因の約 60%以上が生活習慣病、2.7%が自殺である。</p> <p>②特定健康審査における 40 歳代のメタボリックシンドロームの該当者および予備群は、男性:約 40%、女性:約 13.6%となっている。</p> <p>③年代別死亡原因は、自殺は 20～39 歳で第 1 位、20 歳未満、40 歳代で第 2 位となっており、若年代や働き盛りの世代で主要死亡原因となっている。</p> <p>④自殺死亡率は特に男性の同居人「なし」で高くなり、自殺者数を職業別にみると「勤めている人」が最も多い。また、原因は「健康問題」が 209 人と最も多く、内訳として「うつ病」が 42.8%、「身体の病気」34.5%となっている。</p> <p>※①～②:松戸市健康増進計画 健康松戸 21 スリー 第 2 章 市の現状と課題</p> <p>③～④:2019 年 4 月松戸市自殺対策計画より(平成 24～28 年のデータ)</p>
事業の目的	<p>学校に「保健室」があるように、まちの中に「働くおとな」の「保健室」を開設。看護師が継続的に担当することで、気軽に健康についての悩み相談ができ、癒しと安心を提供し、ココロや体がリセットできるような憩いの場を作り、病気の予防を促進し、メンタルヘルス不調者の軽減を目指す。またイベントなどを通して、健康・セルフケアについて学び、考える場を作ることで、健康意識を向上していくことを目的とする。さらにコミュニティができることで、地域交流を深めていきたい。</p>
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>①出張型「働くひとの保健室」の実施(月 1～2 回)</p> <p>A:看護師が健康などについての悩みごとへの相談対応を実施</p> <p>B:ゆっくり休息がとれるような癒しの空間作りの提供</p> <p>C:健康や介護に関する情報の提供をミニ講座として実施(必要時適宜)</p> <p>D:ハンドマッサージのサービス提供(希望者)</p> <p>E:健康に関するイベントの企画及び実施(年 3 回)</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大の恐れがある場合は、オンラインサロンを活用。オンラインでの開催については状況をみながら検討していく。</p> <p>②オンライン相談室の開催</p>

2 スケジュール		
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月・5月 6月・9月 11月・12月 1月・3月	①働くひとのまちなか保健室 の実施(A～D) イベントの計画・準備(E) ②オンライン相談室の実施	①構成員 ②構成員 (チラシ作成・SNS 発信)
※8月は お休み	※3月においては、振り返りを する	※構成員・来年度の活動につ いて検討する
7月 10月 2月	①働くひとのまちなか保健室 のイベント実施(E) ②オンライン相談室の実施	①構成員・外部講師 (予定:キーボード奏者) ②構成員
<p>・保健室の利用は、時間内は出入り自由。1人1回 500円～1000円(場所および 内容・状況により変動)、基本的にワンドリンク(+おやつ)付き。</p> <p>・開催時間は、内容などによりその都度調整。</p> <p>・ハンドマッサージ(オプション)10分 500円</p> <p>・場所は、駅から比較的近い等、仕事帰りにでも立ち寄りやすい場所を探す。 日常からちょっと離れホッと一息つける時間の提供と相談しやすい環境をテー マとするため、会議室のような場所でないところを活用。</p> <p>・イベントは健康をテーマにした内容で、定期的にかつ継続的に開催していく。 (キーボード奏者の演奏による癒し空間と身近な健康の話題のコラボを予定)</p> <p>・アロマを活用し、心と体を癒せるような環境作りを提供。感染予防対策を実行し ながら、コミュニティを構築できるような関りがもてる支援も行っていく。</p> <p>※新型コロナウイルス感染の状況による開催については、状況に合わせて、順応 していく。(参加費:オンライン相談室は、無料に対応。)</p>		
既存の事業から ステップアップ する部分(ステッ プアップ助成の み)		
事業の目標	①働くひとの保健室の利用人数延べ 100人を目指す ②賛同していただける協力員(看護師を含む)を3人増やす	
今後の展望	<p>新型コロナ感染予防対策により、活動が思うようにいかなかった初年度であつた が、新型コロナ感染予防対策をしつつも、健康・セルフケアについて学びや考える 機会とし、気軽に相談でき、安心と癒しをもってココロと体をリセットできる憩いの 場作りを継続したい。さらに健康をテーマとしたイベントで、人と人との繋がりを感 じれるイベントを定期開催し、健康な体づくりについての意識を高めていきたい。 そして、昨年度よりも認知度を上げ、利用者を増やし、継続的で安定した事業を実 施していくシステムづくりを構築していく。また、地域活動に興味のある看護師や 医療従事者等と繋がり、社会貢献できる場を増やすことで、地域の方々と一緒に 地域づくり、そして地域貢献していくことを目指していきたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染へのリスクを最小限としつつ、オンライン相談を活用する ことで、より相談しやすい環境を提供し、ココロのストレス解消につなげられるよう に 周知していく。</p>	

市民活動助成
事業番号 15
スタート助成

冒険山開放に伴う見守り事業

冒険山開放委員会

事業計画書

事業名	冒険山開放に伴う見守り事業
団体名	冒険山開放委員会

事業概要	小金北小学校にある遊具施設（冒険山）を開放し、地域を超えた子ども達が、自由に、安全に遊べるよう、その見守り活動と・体験広場を開催し、用具の準備・工材の購入・工作のアドバイス等を行う。
------	---

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	近年小学生の7割が、外で遊ばないというデータが出ております。子ども達の遊ぶ時間・場所がない・仲間づくりができない等がその要因です。そこで小金北小学校にある遊具施設（冒険山）を休日に開放し、自由に遊べる場所と、時間を提供し、健全な仲間づくりの醸成のため、その見守りと、体験広場・イベントを開催する。
---------------------	--

事業の目的	冒険山を開放し、危険を自分自身で感じられる自立心と挑戦力の醸成に寄与すること。また地域を超えた子ども達が遊びを通じて集うことにより、子ども達の視野を広げ、相互の存在を認めあえる場の提供等を目的とします。
-------	---

事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>①冒険山開放日の参加者見守りと、各種体験広場の開催。 （冒険山開放日：毎月第1・2日曜日1時から4時 年末年始除く、雨天中止 年間21回実施見込み）</p> <p>②体験広場：（竹馬騎乗体験・竹ぼっくり遊び・ストラックアウト・凧つくり・こま回し、工具を使い各種木材作品作り・けん玉・料理教室の開催等。）</p> <p>③講演会の開催 講師 下正宗（前東葛病院院長） 講演テーマ：コロナ禍における夏休みの過ごし方</p> <p>④ソーメン流し（場所 小金北小学校、対象・人数 小学生中心・約200名）</p> <p>⑤焼き芋大会（場所 中金杉浅間公園、対象・人数 小学生中心・約200名）</p> <p>⑥凧揚げ大会（場所 坂川土手周辺、対象・人数 小学生中心・約50名）</p> <p>※必要に応じて打ち合わせを行う。（会場：中金杉青年館ほか）</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月-3月</td> <td>①開放時の見守り ②体験広場</td> <td>隊員：2～4名・小金北小校庭</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>③講演会の開催 「夏休みをどう過ごすか」</td> <td>講師 下正宗（前東葛病院院長） 場所は未定</td> </tr> <tr> <td>7、8月</td> <td>④ソーメン流し</td> <td>小金北小学校</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>⑤焼き芋大会</td> <td>中金杉浅間公園</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>⑥凧揚げ大会</td> <td>坂川土手周辺</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4月-3月	①開放時の見守り ②体験広場	隊員：2～4名・小金北小校庭	6月	③講演会の開催 「夏休みをどう過ごすか」	講師 下正宗（前東葛病院院長） 場所は未定	7、8月	④ソーメン流し	小金北小学校	11月	⑤焼き芋大会	中金杉浅間公園	1月	⑥凧揚げ大会	坂川土手周辺
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																	
4月-3月	①開放時の見守り ②体験広場	隊員：2～4名・小金北小校庭																	
6月	③講演会の開催 「夏休みをどう過ごすか」	講師 下正宗（前東葛病院院長） 場所は未定																	
7、8月	④ソーメン流し	小金北小学校																	
11月	⑤焼き芋大会	中金杉浅間公園																	
1月	⑥凧揚げ大会	坂川土手周辺																	

<p>既存の事業から ステップアップ する部分 (ステップアッ プ助成のみ)</p>	
<p>事業の目標</p>	<p>① イベントを強化することによって、遊ぶ楽しさを子供たちに楽しさを理解してもらい、普段の開放日の参加者の増加を図る。 北小だけでなく近隣の小学生にも参加を呼び掛けて拡大する</p> <p>② 継続的な事業の展開を目指すには、見守り隊の人員体制の強化が必要です。現在は19名ですがさらに6名増やし25名の隊員を確保する。</p>
<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「子どもたちの健やかな成長を願って」というテーマで活動を続けておりますが、現在子どもたちを取り巻く環境はますます厳しさを増しております。こんな環境を作り出した原因の中には親世代が作り出した問題もあります。ミニ集会、講演会などの機会を利用して、子育て世代にも理解をいただけるように働きかけていきます。 ・ 冒険山は小学生なら誰もが感じる素晴らしい遊び場です。その遊び場を小金北小学校だけでなく近隣の小学生なら誰もが楽しめる場所としてさらに広げたいと考えております。

事業の予算概要（令和3年度）

【収入】

（単位：円）

	科 目	金 額	積算内訳
団 体	団体拠出金	¥ 35,960	前年度繰越金
	寄付金	¥ 70,000	会員・近隣町会からの寄付金
	自己資金の合計額（A）	¥ 105,960	
市	市民活動助成金（B）	¥ 100,000	
合計額（C） = （A+B）		¥ 205,960	

【支出】

	科 目	予算額	積算内訳	
助 成 金 の 交 付 対 象 経 費	報償費	¥ 10,000	外部講師謝礼	
	消耗品費	¥ 120,000	そーめん流し食材 50,000円	材料代 220円×200名 (ソーメン、トッピング具材、米など) 紙食器等消耗品 30円×200名 (割りばし、容器など)
			焼き芋大会 50,000円	材料代 230円×200名 (サツマイモ、炭、薪など) 紙食器等消耗品 20円×200名 (割りばし、容器など)
			凧あげ大会 10,000円	材料代 200円×50名 (凧、タコ糸など)
			コピー用紙インク代 10,000円	コピー用紙 0.5円×4,000枚 インク代 4,000円×2セット
	印刷製本費	¥ 20,000	ポスター・チラシ印刷代 ポスター 80円×50枚 チラシ 4円×4,000枚	
	使用料及び賃借料	¥ 10,000	打合せ会場使用料 (会場：中金杉青年館ほ 1,000円×10回 か)	
	保険料	¥ 15,960	行事保険 冒険山見守り @560×21回 大会行事（ソーメン、焼き芋、凧揚げ）@1,400×3 回	
	対象経費の合計（D）		¥ 175,960	
	そ の 他 経 費	食糧費	¥ 20,000	昼食代3回 見守り飲み物代21回
備品		¥ 10,000	テント	
その他経費の合計（E）		¥ 30,000		
合計額（F） = （D+E）		¥ 205,960		

【チェック項目】

- 1 助成金（B）が対象となる経費（D）欄の90%以内、自己資金（A）欄が対象経費（D）欄の10%以上であること。
- 2 助成金（B）が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成
事業番号 16
スタート助成

坂川水系自然環境向上事業

坂川の花桃を愛する会

事業計画書

事業名	坂川水系自然環境向上事業
団体名	坂川の花桃を愛する会

事業概要	「坂川」をきれいな川にするとともに、多様な水性動植物が育ち、豊かな川にするため、再度（2回目）「魚の稚魚放流」を、子ども達を含む地域住民とともに計画する。
------	---

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>新松戸地区は約40年前に区画整理事業で生まれた新しい街です。時代とともに整備・発展している、美しく住みやすい街です。</p> <p>しかし、坂川放水路の地域は、整備された工法などの関係で、生物（魚・水草・水鳥など）が生息するにはまだ時間がかかりそうです。</p> <p>地域の力で手助けすることが必要だと考えています。</p>															
事業の目的	坂川水系に適した生物（川魚の稚魚）を放流し、自然環境向上を図るとともに、地域の子ども会等の協力を得て、多世代が交流を持てる機会とし環境意識の向上を図り、併せてコミュニケーションエリアにしたい。															
事業内容	<p>1, 事業内容</p> <p>「坂川の花桃を愛する会」が中心となり、地域の「子ども会」「小中学校」「地域団体」などと協力して放流イベントを開催する。</p> <p>その結果を春～冬にかけて、学校・地域の連携で観察し、自然環境の変化や実情を纏めたい。</p> <p>2, スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年4月</td> <td>スケジュール検討</td> <td>役員会</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月</td> <td>関係者と検討会</td> <td>国交省江戸川河川事務所 松戸市河川清流課 地域子ども会 松戸漁業組合・地域団体</td> </tr> <tr> <td>令和3年5月</td> <td>イベント内容確認</td> <td>各種申請 国交省・警察・教育委員会など 各種手配 養殖場と交渉・子ども会連絡 広報活動</td> </tr> <tr> <td>令和3年6月</td> <td>川魚の稚魚放流</td> <td>稚魚 1000匹 会場：北千葉導水路管理センター 坂川水系の自然のパネル展示</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	令和3年4月	スケジュール検討	役員会	令和3年4月	関係者と検討会	国交省江戸川河川事務所 松戸市河川清流課 地域子ども会 松戸漁業組合・地域団体	令和3年5月	イベント内容確認	各種申請 国交省・警察・教育委員会など 各種手配 養殖場と交渉・子ども会連絡 広報活動	令和3年6月	川魚の稚魚放流	稚魚 1000匹 会場：北千葉導水路管理センター 坂川水系の自然のパネル展示
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など														
令和3年4月	スケジュール検討	役員会														
令和3年4月	関係者と検討会	国交省江戸川河川事務所 松戸市河川清流課 地域子ども会 松戸漁業組合・地域団体														
令和3年5月	イベント内容確認	各種申請 国交省・警察・教育委員会など 各種手配 養殖場と交渉・子ども会連絡 広報活動														
令和3年6月	川魚の稚魚放流	稚魚 1000匹 会場：北千葉導水路管理センター 坂川水系の自然のパネル展示														

<p>既存の事業から ステップアップ する部分 (ステップアッ プ助成のみ)</p>	
<p>事業の目標</p>	<p>令和2年に出来なかった自然観察を実施したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, コロナ騒動が落ち着いたら、小金中(科学部)・小金高(生物部)の協力を得て、定点観測を実施。部活動の一環として活動していただく。そして地元の自然に対する現状を理解していただく。 2, 地域のカメラ愛好会の皆さんの協力を得て、季節の変化を映像に記録。差向橋・けやき橋・関の橋から春~冬にかけての「草花・魚・水鳥」を観察し、季節の変化を確認の上発表する。 3, 花桃の会のメンバー及び地域の皆さんから環境意識に関するアンケートを提供いただき、参考にして次年度の目標設定に資する課題とする。
<p>今後の展望</p>	<p>坂川の自然環境向上に資するテーマを今後も活動の中心に置き、坂川の未来計画を作成していく所存です。</p> <p>そして、子ども達に希望を与えられる地域づくりに貢献したいと思います。</p>

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科 目	金 額	積算内訳
団 体	寄付金	¥ 69,200	会員・援助団体からの寄付
	自己資金の合計額 (A)	¥ 69,200	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 169,200	

【支出】

	科 目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 52,200	松戸警察に道路使用許可 ¥2,200 揚水ポンプ・カラーコーン ¥50,000
	消耗品費	¥ 90,000	魚の稚魚1000匹
	委託料	¥ 7,000	魚の稚魚運搬費
	印刷製本費	¥ 10,000	看板・ポスター・チラシ
	食糧費	¥ 10,000	<u>お茶@100×100名</u>
対象経費の合計 (D)		¥ 169,200	
その他経費			
その他経費の合計 (E)		¥ 0	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 169,200	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成
事業番号 17
スタート助成

[生きづらさ・ひきこもり]
からだどころに栄養をあたえる場づくり事業

生きづらわーほりプロジェクト

事業計画書

事業名	[生きづらさ・ひきこもり] からだとこころに栄養をあたえる場づくり事業
団体名	生きづらわーほりプロジェクト
事業概要	
ひきこもり当事者・経験者に向けて、みんなでランチを作り、一緒に食べながら楽しく会話して過ごす場をつくる。からだとこころに栄養を与え、社会につながっていくためのエネルギーが得られるようにする。	
取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	<p>社会的な孤立や無縁社会、貧困といった社会課題が提起されている中、生きづらさを抱えひきこもり状態に陥ってしまった人達は、人口の1～1.5%程度いるとも言われ、非常に多く存在していることが明らかとなってきた。松戸市内でもひきこもりに関する講演会に100名を超す参加者が集まるなど、多くのひきこもり当事者が暮らしているものと考えられる。</p> <p>なかなか一歩を踏み出すことができなかつたひきこもり当事者にとっては、ひきこもりの当事者会や関連するイベントなどの場（「居場所」と呼ばれている）が、外に出て社会とのつながりを作る端緒となりやすいが、松戸市内にはそのような場所がほとんどないという実情がある。</p> <p>また、「居場所」にはようやく出ていけるようになった当事者にとっても、そのような場はやはり重要である。新型コロナウイルスの感染拡大により各地で「居場所」が開かれなくなった際には、当事者が外出できなくなったことによって再び精神的に落ち込んでしまったという事例も見受けられた。</p> <p>このようなことから、当事者の身近に「安心して過ごせる場・話せる場」があることが、ひきこもりの課題解決にとって重要なポイントとなる。</p>
事業の目的	ひきこもり当事者にとって、外に出て社会とつながるには非常に大きなエネルギーが必要となる。当事者はあまり健康的とは言えない生活をしていることも多いことから、しっかりと食事をしてからだに栄養を摂るとともに、会話をしながら楽しく食事の時間を過ごすことでこころにも栄養を与え、社会につながっていくためのエネルギーが得られるようにする。
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>①生きづら Cooking-Meeting 「つたわり」</p> <p>ひきこもり当事者・経験者が集って、みんなでランチを作り、一緒に食べながら楽しく会話をして過ごす場づくりを行う。いろいろな当事者が参加しやすくなるよう、女性の当事者限定の「女子会版」、20歳前後から30歳程度までの年齢層をターゲットとした「若人版」、特に制限のない「通常版」の3つのバージョンで開催する。また、松戸地域だけでなく、一部、新松戸地域でも開催することで、より広範囲で参加しやすいようにする。</p> <p>②ハート to ハートまつど懇談会</p> <p>ひきこもり当事者・経験者、家族、支援関係者、その他ひきこもりに興味・関心のある方が集まる対話交流イベントを開催する。当プロジェクトの活動内容やひきこもり経験者の事例の共有を通して、参加者と一緒にひきこもりについて考え、改善につながるアイデアをシェアすることで、人と人とのつ</p>

なかりをさらに広げていけるようにする。

2 スケジュール

実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4	①「つたわり」通常版	①運営スタッフ3名、まつど市民活動サポートセンター 調理室
5	①「つたわり」女子会版	①運営スタッフ3名、まつど市民活動サポートセンター 調理室
6	①「つたわり」若人版	①運営スタッフ3名、まつど市民活動サポートセンター 調理室
7	①「つたわり」通常版	①運営スタッフ3名、まつど市民活動サポートセンター 調理室
8	①「つたわり」女子会版	①運営スタッフ3名、新松戸市民センター 料理教室
9	①「つたわり」若人版	①運営スタッフ3名、まつど市民活動サポートセンター 調理室
10	①「つたわり」通常版	①運営スタッフ3名、新松戸市民センター 料理教室
11	①「つたわり」女子会版	①運営スタッフ3名、まつど市民活動サポートセンター 調理室
12	①「つたわり」若人版	①運営スタッフ3名、新松戸市民センター 料理教室
1	①「つたわり」通常版 ②「ハート to ハートまつど懇談会」	①運営スタッフ3名、まつど市民活動サポートセンター 調理室 ②運営スタッフ5名、まつど市民活動サポートセンター 大会議室
2	①「つたわり」女子会版	①運営スタッフ3名、まつど市民活動サポートセンター 調理室
3	①「つたわり」若人版	①運営スタッフ3名、まつど市民活動サポートセンター 調理室

既存の事業からステップアップする部分

(スタート助成への応募のため省略)

事業の目標

- ①社会につながろうとするひきこもり当事者・経験者が増える。
【「つたわり」参加人数 60人(各回平均5人)】
- ②ひきこもりに関心を持つ人同士の交流が図られアイデアがシェアされる。
【「ハート to ハートまつど懇談会」参加人数 20人】

今後の展望

社会につながっていくためのエネルギーを得られたひきこもり当事者に対するサポートの仕組みを構築する。

- ・ひきこもり以外のいろいろな分野で活動している地域の市民団体・NPOとのつながりを作る。それら団体と当事者との間の橋渡しを行い、両者の関係性を円滑に作れるようサポートする。
- ・(人手不足となっている)地域の中小企業等との繋がり、援農、他地域への暮らし体験(わーほり体験)など就労につながる仕組みづくりを行う。

事業の予算概要

【収入】

(単位: 円)

	科目	金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 15,290	事業費の一部を団体の会計より拠出
	「つたわり」参加費	¥ 18,000	300円×5人×12回
	「ハートtoハートまつど懇談会」参加費	¥ 6,000	300円×20人×1回
	自己資金の合計額 (A)	¥ 39,290	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 100,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 139,290	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 10,000	外部講師謝礼 (ハートtoハートまつど 10,000円×1回懇談会)
	消耗品費	¥ 1,400	台ふきん (つたわり) 300円×3箱
			洗剤、スポンジ (つたわり) 500円
	食糧費	¥ 59,100	食材、飲み物 (つたわり) 600円×8人×12回
			参加者用お茶菓子 (ハートtoハートまつど 1,500円×1回懇談会)
	印刷製本費	¥ 9,250	チラシ印刷 (つたわり 片面4色 1,780円×3回 200部)
			チラシ印刷 (ハートtoハートまつど 懇談会 両面4色 200部) 1,910円×1回
当日配布資料コピー (ハートtoハートまつど 10円×10枚×20人×1回懇談会)			
使用料および賃借料	¥ 32,940	会場使用料 (まつど市民活動サポートセンター 調理室) 380円×5時間×9回	
		会場使用料 (新松戸市民センター 料理教室) 880円×5時間×3回	
		会場使用料 (まつど市民活動サポートセンター 大会議室) 660円×4時間×1回	
対象経費の合計 (D)		¥ 112,690	
その他経費	交通費	¥ 26,600	運営メンバーの交通費 (つたわり) 600円×3人×12回
			運営メンバーの交通費 (ハートtoハートまつど 懇談会) 1000円×5人×1回
	その他経費の合計 (E)		¥ 26,600
合計額 (F) = (D+E)		¥ 139,290	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成
事業番号 1
ステップアップ助成

Bangladesh 文化交流を通じた
 設立3周年コンサート2021事業

特定非営利活動法人 桜 JB FOUNDATION

事業計画書

事業名	バングラディッシュ文化交流を通じた設立3周年 コンサート 2021 事業
団体名	特定非営利活動法人桜 J B FOUNDATION

事業概要
松戸市を安全かつ安心して住みやすい場所にするため、互いに協力し合い社会づくりに寄与する日本とバングラディッシュの文化交流イベントを実施する。

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	松戸市は美しく住みやすい町であり東京にも近くて便利な場所です。東京に住んでいる人々にとっては、松戸市は都内から遠く離れているイメージがありますが、意外と近いところで都内への勤務も可能です。松戸市は安全で、且つ安心して家族と一緒に暮らすことができる町です。子供たちにとっても自然が多く良い環境であり安全に活動することができます。今後、日本のルール、政策、文化等を知ること、松戸市には多くの外国人が移住できるような住みやすい町として発展していけるよう、より多くの国の文化が混ざり合う美しい町を創造していく必要があります。																											
事業の目的	私たちはバングラディッシュ人です。知り合いや友人などは全員東京に住んでいます。当初、彼らは松戸市が遠すぎるとイメージしていましたが、団体設立後、数人の友人が参加し、松戸市を訪れた際には町の雰囲気や絶賛していただきました。私たちはさまざまなイベントを企画することでバングラディッシュだけでなく、他の外国人も町を発展させるためのパートナーになれると期待しておりそれを目標としています。松戸市にバングラディッシュの家族を増やし、家族同士の交流を図ることでお互いを知ること、また、バングラディッシュと日本の文化プログラムを通じ共にたたえあうことで、良い社会の環境づくりに貢献します。																											
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>バングラディッシュの人気アーティストが伝統的な踊りや歌を披露し、日本に住むバングラディッシュの子供たちにバングラディッシュと日本の文化を紹介します（例—日本の有名な歌を聞きながら踊ります）。最後にバングラディッシュのおいしいカレー（ディナー）を提供します。</p> <p>イベントの会場—松戸市民会館</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3/5/16</td> <td>総会（イベントの討議）</td> <td>構成員</td> </tr> <tr> <td>R3/6/13</td> <td>アーティストの選択と契約</td> <td>構成員</td> </tr> <tr> <td>R3/7/11</td> <td>スポンサー契約と集金</td> <td>構成員</td> </tr> <tr> <td>R3/8/08</td> <td>航空券とホテルの予約</td> <td>構成員</td> </tr> <tr> <td>R3/9/06</td> <td>バングラディッシュでのビザ申請</td> <td>構成員</td> </tr> <tr> <td>R3/9/12</td> <td>イベント会場管理の説明</td> <td>構成員</td> </tr> <tr> <td>R3/10/03</td> <td>ポスターやバナーを宣伝</td> <td>構成員</td> </tr> <tr> <td>R3/10/23</td> <td>空港からホテルまで案内</td> <td>構成員</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	R3/5/16	総会（イベントの討議）	構成員	R3/6/13	アーティストの選択と契約	構成員	R3/7/11	スポンサー契約と集金	構成員	R3/8/08	航空券とホテルの予約	構成員	R3/9/06	バングラディッシュでのビザ申請	構成員	R3/9/12	イベント会場管理の説明	構成員	R3/10/03	ポスターやバナーを宣伝	構成員	R3/10/23	空港からホテルまで案内	構成員
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																										
R3/5/16	総会（イベントの討議）	構成員																										
R3/6/13	アーティストの選択と契約	構成員																										
R3/7/11	スポンサー契約と集金	構成員																										
R3/8/08	航空券とホテルの予約	構成員																										
R3/9/06	バングラディッシュでのビザ申請	構成員																										
R3/9/12	イベント会場管理の説明	構成員																										
R3/10/03	ポスターやバナーを宣伝	構成員																										
R3/10/23	空港からホテルまで案内	構成員																										

	R3/10/23	コンサートの練習	アーティスト（昼食と夕食）
	R3/10/24	コンサートの出席	アーティスト（昼食と夕食）
	R3/10/24	コンサート後、カレー夕食	お客様（200人）
	R3/10/25	日本の歴史的名所を訪ねる	アーティスト（昼食と夕食）
	R3/10/26	ホテルから空港まで案内	アーティスト（昼食後、帰国）
	R3/10/26日に、閉会式です。		
既存の事業から ステップアップ する部分 (ステップアップ 助成のみ)	<p> Bangladeshの多くの家族に松戸市の良さを紹介し、全ての人々と良好な関係を築くことで町の発展を支援し、松戸市の周辺に住む多くの Bangladeshの人との交流を図ること。令和元年度は Bangladeshの人気アーティストを招き、ベンガル文化交流を行いました。本事業では、松戸市に住むすべての Bangladesh人とその子供たちに Bangladeshの文化を忘れないように人気アーティストが出演するイベントに参加を呼び掛ける予定です。プログラムの最後には、 Bangladeshの美味しいカレー（ディナー）がゲストに振る舞われます。 Bangladesh人が松戸市との友好を深めることで、更なる町の発展へ大きく貢献できると確信しています。</p>		
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回のイベントの参加人数：200名。 → Bangladeshと日本の関係がより良好なものになることで、多くの Bangladesh人が松戸市により多くの好感を持つことでしょう。 ・ Bangladesh以外の南アジア出身者の来場 → ご存知のように、 Bangladesh、インド、ミャンマー、ネパール、パキスタンなどの南アジアの国々の文化はほとんど同じです。ですから、このプログラムを通じて、 Bangladesh人だけでなく、南アジア人もこのフェスティバルに興味を示すでしょう。私たちは、すべての国の人々と共に発展した住みよい町を作っていきます。 		
今後の展望	<p> Bangladeshだけでなく、多くの外国人が、安全で、且つ安心して家族と住める美しい環境を作り上げます。</p>		

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科目	金額	積算内訳
団体	正会員受取り会費	¥150,000	団体拠出金
	寄付金	¥167,700	賛助会員受取り会費
	事業収益	¥350,000	イベント事業収益 (スポンサー費 ¥50,000×07社)
	自己資金の合計額 (A)	¥667,700	
市	市民活動助成金 (B)	¥300,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥967,700	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥600,000	アーティスト謝礼として ¥200,000x3人
	印刷製本費	¥10,000	チラシ印刷 ¥5x2,000枚 パンフレット印刷 ¥50x400部
	消耗品費	¥140,000	ポスター用紙 ¥50x100枚 インク ¥2,500x2セット バナナ ¥5,000x2枚 来場者用カレー材料費 ¥500x200人
	使用料および賃借料	¥171,700	会場使用料 (午後) ¥22,000 (4時間x1回) (夜間) ¥26,400 (4時間x1回) 調理室使用料 ¥3,300 (5時間x1回) 音楽機材使用料 ¥80,000 ステージ飾り物 ¥20,000 照明 ¥20,000
	対象経費の合計 (D)	¥921,700	
	その他経費	食糧費	¥36,000
雑費		¥10,000	
その他経費の合計 (E)		¥46,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥967,700	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成
事業番号 2
ステップアップ助成

音楽活動による街の活性化事業

松戸音楽活動同好会

事業計画書

事業名	音楽活動による街の活性化事業
団体名	松戸音楽活動同好会

事業概要
福祉施設訪問音楽会や音楽イベントを運営して明るく元気な人や街作りを行う。多様な音楽事業で郷土愛を育み生き甲斐や健康作りに寄与し、更にオペラコンサートを主催して街の活性化を推進する。

取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）	新型コロナウイルスが世界中に猛威を奮い、我が国の感染者は9月13日現在全国で7.5万人を超え松戸市で340人に達した。コロナ禍の長期化が市民の生活に暗く影を落とし、自粛生活等によりストレスの蓄積や免疫力の低下等心身に及ぼす影響が懸念されている。人々は社会と関わりを持ちながら生活してきたが、この状況下が続くとコミュニティとの分断の危機の恐れもある。新しい生活様式の下、人や街を元気にし、再び松戸市が活気を取り戻すことが求められている。
---------------------	---

事業の目的	コロナ渦中であっても人々にとって掛け替えのない文化である音楽の灯をともし続け、安全・安心な対策の下に多様な市民と、ともに音楽を楽しみ、勇気と活力を得て、明るく元気な人や街作り貢献し、街の活性化事業を推進すること
-------	---

事業内容	<p>1. <u>事業内容</u>：①企画運営事業と②参加事業に分けて運用する。</p> <p>① <u>企画運営事業（重点事業）</u></p> <p>A. 新型コロナウイルス感染症予防ガイドラインに則り、音楽の持つパワーを活用して安全・安心な音楽会を運営し街や人を元気にする。会場では万全な対策をとり、更に市民劇場では来場者管理を徹底するため、専任の管理スタッフ要員を配置する。多様な市民が集い、手話コーラスやダンス、また郷土の歌も取り入れ、音楽に癒やされ生き甲斐や健康生活につなげ、街の活気を取り戻していく。</p> <p>B. 福祉施設訪問音楽会でも感染症予防ガイドライン等に則り、歌・ピアノや和楽器演奏・音楽体操等を披露しともに楽しく歌い、生きる活力になる支援をする。</p> <p>C. 初のオペラ主体コンサートを開催し、オペラ芸術に感動し活性化を推進する。</p> <p>② <u>参加事業（充実・発展事業）</u></p> <p>A. 町内会の歌声会等に歌声指導・伴奏をして元気な街・人作りを支援する。</p> <p>B. 市内の合唱団に講師として歌唱指導し、仲間作り・生きがい作りに貢献する。</p> <p>C. 「みらいフェスタ」等に出演して、感動を共有しともに活動する仲間を増やす。</p> <p>D. 「やきり産直祭」ライブ出演で観光客にも松戸市をPRし街の活性化に繋げる。</p> <p>2. <u>スケジュール</u></p> <p>① <u>企画運営事業(重点事業)</u>【年間30回】※実施体制は全て主催事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年間実施</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>対象・活動場所</th> <th>講師・依頼人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20回</td> <td>福祉施設訪問音楽会</td> <td>利用者・福祉施設</td> <td>部員ピアノ奏者1名</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>サポセン音楽祭</td> <td>市民・サポセン</td> <td>楽器等・ピアノ奏者2名</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>マツド・ホープ・オペラコンサート (仮称)</td> <td>市民・松戸市民劇場</td> <td>オペラ歌手・ピアノ奏者各2名、 管理スタッフ3名</td> </tr> <tr> <td>3回</td> <td>松音ハッピーコンサート</td> <td>市民・矢切公民館</td> <td>楽器等・ピアノ奏者2名</td> </tr> <tr> <td>3回</td> <td>公開講座(歌唱練習)</td> <td>市民・矢切公民館</td> <td>ピアノ奏者1名</td> </tr> <tr> <td>2回</td> <td>松音サロン</td> <td>市民・町会公民館</td> <td>部員ピアノ奏者1名</td> </tr> </tbody> </table>	年間実施	具体的な取り組み	対象・活動場所	講師・依頼人数	20回	福祉施設訪問音楽会	利用者・福祉施設	部員ピアノ奏者1名	1回	サポセン音楽祭	市民・サポセン	楽器等・ピアノ奏者2名	1回	マツド・ホープ・オペラコンサート (仮称)	市民・松戸市民劇場	オペラ歌手・ピアノ奏者各2名、 管理スタッフ3名	3回	松音ハッピーコンサート	市民・矢切公民館	楽器等・ピアノ奏者2名	3回	公開講座(歌唱練習)	市民・矢切公民館	ピアノ奏者1名	2回	松音サロン	市民・町会公民館	部員ピアノ奏者1名
年間実施	具体的な取り組み	対象・活動場所	講師・依頼人数																										
20回	福祉施設訪問音楽会	利用者・福祉施設	部員ピアノ奏者1名																										
1回	サポセン音楽祭	市民・サポセン	楽器等・ピアノ奏者2名																										
1回	マツド・ホープ・オペラコンサート (仮称)	市民・松戸市民劇場	オペラ歌手・ピアノ奏者各2名、 管理スタッフ3名																										
3回	松音ハッピーコンサート	市民・矢切公民館	楽器等・ピアノ奏者2名																										
3回	公開講座(歌唱練習)	市民・矢切公民館	ピアノ奏者1名																										
2回	松音サロン	市民・町会公民館	部員ピアノ奏者1名																										

	② 参加事業（充実・発展事業）【年間36回】		
	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
	年15回	混声合唱団（歌唱指導）	合唱団・団員・市民センター等
	年5回	やきり産直祭（野外ライブ）	協会・観光者、市民・矢切の渡観光所
	年2回	町会主催音楽会（伴奏）	町会・町会員・市民センター等
	年2回	お祭・音楽会（合唱伴奏）	市民団体・地域市民・市内会場
	年8回	サロンわたし（歌伴奏）	市民団体・市民・総合福祉会館
	11月	ふれあいフェスティバル 出演	市障害福祉課・障がい者主体市民・ 松戸中央公園
	2月	矢切公民館音楽祭出演	教育委員会・市民・矢切公民館
	3月	川の歌コンサート出演	市民団体・市民・松戸市民劇場
	3月	みらいフェスタ出演	サボセン・子供主体市民・松戸駅広場
既存の事業から ステップアップ する部分 (ステップアップ 助成のみ)	<p>1. <u>多様な音楽事業を展開する。</u></p> <p>①多様な市民が楽しめる親しみやすい歌・外国の歌やダンス等も取り入れ健康的で明るく楽しい音楽会を主催して、更なる街の活性化を推進する。</p> <p>②松戸市の手話言語条例に賛同し、手話コーラスで手話の普及に努める。</p> <p>③オペラを主体とした初めてのコンサートをし、松戸にオペラ芸術の礎をめざす。</p> <p>2. <u>松戸のご当地ソングや市民の歌等に親しみ広める。</u></p> <p>コンサートや福祉施設訪問音楽会で松戸にちなんだ歌を演奏して普及活動を行い、郷土愛・ふるさと意識の一助となり、ともに歌って楽しみ、市民が元気と活力を得て、更なる街の活性化を推進する。</p>		
事業の目標	企画運営事業	年30回	総数 900名
	音楽イベント主催	年10回	【来場者】延べ350名 【出演者、運営者】延べ200名
	福祉施設訪問音楽会	年20回	【参加者】延べ350名
	※アンケート集計：満足度 80%以上、今後の参加希望 80%以上		
	参加事業	年36回	総数 900名
	歌唱指導伴奏・演奏・ 伴奏・コンサート出演	年36回	【来場者】延べ750名 【参加者】延べ150名
	※来場者数はコロナ対策を実施するため、従来の半分以下とした。		
今後の展望	<p>1.音楽関係者・団体との繋がりを持ち続け、福祉関係団体や関係協会等と連携して、また市の障害福祉課や高齢者支援課等の行政機関や教育機関等の協力も得て、活動の幅を広げ、今後も音楽の灯をともし続ける。</p> <p>2.松戸音楽活動同好会の柱として音楽イベントの内容を経験と研鑽により更に充実させ、「事業計画」を継続させ、松戸市が益々住みやすい街になるように音楽活動を通して貢献していく。</p> <p>3.新型コロナウイルス渦が終息されない状況にあっても万全な感染症対策を続け、また他の予期せぬ状況が発生しても、安全・安心な音楽事業を存続する。</p>		

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 83,000	対象事業費の一部及び対象外経費を団体の会計より拠出
	施設より謝礼金	¥ 16,000	1,000×8施設+2,000×4施設
	自己資金の合計額 (A)	¥ 99,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 399,000	

【支出】

科目		予算額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 140,000	外部講師謝礼	15,000×3名,10,000×1名 オペラ歌手,伴奏者 5,000×5名サポセン演奏者・公開講座伴奏者 10,000×2名×3回ハッピー演奏・伴奏者
		¥ 12,720	オペラコンサート会場 管理スタッフ代	シルバー人材センター 1060×3名×4H=12,720
	消耗品費	¥ 20,000	キーボード音響機器 部品等の消耗品費	マイク類等8,000・ その他ケーブル等消耗品12,000
		¥ 10,000	歌詞模造紙・歌集・ 看板作成等	糊・補強テープ・補助用紙・ マジック等・立て看板・横断幕
		¥ 14,000	コロナ対策関連費	非接触検温計9,000 消毒液等5,000
		¥ 29,000	事務用品・インク・ 用紙・乾電池・書籍	事務用品、インク、用紙、乾電池等 24,100 書籍(手話、歌集) 4,900
	食糧費	¥ 10,000	講師食糧費 音楽祭景品費	講師水・昼食(150+700)×8=6,800 茶菓子代(景品用) 3,200
	印刷製本費	¥ 35,000	ポスター・チラシの 外注制作代(周知用)	ポスター100×30部×1回(オペラ) チラシ2×2,000部×3回(ハッピー) チラシ2×5,000部×2回(サポセン・オペラ)
		¥ 24,000	印刷・コピー代	ポスター・チラシ・プログラム・ アンケート・歌詞カード等
	委託料	¥ 6,000	ダンス指導	年間1名 6,000
	通信費	¥ 12,600	切手代等(周知用)	84×150枚=12,600
	使用料及び賃借料	¥ 56,130	市民劇場使用料 賃借料	ホール控室等21,130 音響ピアノ/照明設備35,000
		¥ 14,500	会場使用料 楽曲使用料	公共施設5,500 上三公民館4,000 JASRAC5,000
対象経費の合計 (D)		¥ 383,950		
その他経費	食糧費	¥ 8,250	会員等の昼食代	550×15名
	コンサート出演料	¥ 2,000	コンサート出演料	みらいフェスタ、その他音楽会
	交通費・駐車料	¥ 4,800	交通費・駐車場費	800×6名
	その他経費の合計 (E)		¥ 15,050	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 399,000		

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成
事業番号 3
ステップアップ助成

全ての命を大切にして、人との繋がりを考え、
環境から優しい街づくりをする猫相談会事業

松戸地域猫スタートサポート

事業計画書

事業名	全ての命を大切にして、人との繋がりを考え、環境から優しい街づくりをする猫相談会事業
団体名	松戸地域猫スタートサポート

事業概要	
<p>飼い主のいない屋外猫を増やさない為に合法的に保護をして不妊手術をする。活動をしている方、これから活動をしたい方、そして屋外猫に悩まれている方など全ての方を対象に悩み解決をして、動物病院や各地域などの情報交換などをして相談し話し合う機会の場を開催し、松戸市民の皆様が市民活動の精神を持って安全で安心して、全ての世代が住みやすい街づくりを目指す。</p>	
<p>取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）</p>	<p>猫の不妊手術をして繁殖を抑制し、元にした場所に戻した後は地域住民が餌やり・トイレ掃除のルールを決めてお世話をして一代限りでの命をまっとうさせる『地域猫活動』。最近では元の場所に戻す事が死につながる事もあり、保護して里親探しをする事が増えているが、またそれに伴い新たな問題も発生している。この活動は猫の繁殖が無くなり御近所トラブルも減るため全国で行われている。松戸市も推進中である。活動をしてきて松戸市も少しずつ増え始めているがまだまだ周知が行き届かない。人口に対しての捕獲器の台数が極めて少く、車の無い市民には借りるにも困難で、やっとな借りられても野良猫捕獲が不慣れで疲れてしまい、地域猫活動自体を諦めてしまう人がとても多い。野良猫捕獲経験者が少なく、地域猫活動に興味を持って、一人で悩んでしまい、開始時点でつまづく人の支援が大きな課題となっている。高齢化も進み、家族としてずっと一緒にいた動物を最期まで看取れなくなり手放してしまい、予防策が取れていない問題もある。</p>
事業の目的	<p>地域猫活動に不可欠な「猫の捕獲」「不妊手術」の疑問や不安、そして個々に活動をする孤独感を取り除き、スムーズに活動ができるように市民の皆様の助けになり、永く続けてくださる人を増やす。そしてその結果、活動実践者が増えて野良猫をめぐる住民トラブルが減り、また活動者同士のつながりを大切にすることで更に積極的に外部と接触するようになり、精神面の充足感も得られることを期待する。子供達が命の大切さと人とのつながり思いやりの心を育成して欲しい。</p>
事業内容	<p>1 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野良猫捕獲と不妊手術などのお悩み解消と地域猫活動スタート相談。 ・地域猫活動開始に不可欠の「野良猫捕獲と不妊手術」に関する疑問や不安、孤独感を解消し、地域猫活動が出来るように力を得てもらう。 ・地域包括支援センターの協力を得て高齢者の飼っている猫やトラブルになる猫の飼い方などの解決、話し合いや悩み相談。 <p>（相談会内容）</p> <p>【捕獲】 ・捕獲器 借りられる場所、使用方法、猫を捕獲しやすい場所と餌。 ・地域猫成功の秘訣は仲間作り、ご近所の協力を得る方法など。</p> <p>【手術】 ・「野良猫不妊手術」を実際に行える動物病院と行わない動物病院。 ・松戸市で利用可能な制度 利用方法など。 ・野良猫捕獲から搬入そして退院後のまでの流れ。</p> <p>【地域猫活動バッチ】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・松戸市の環境部環境保全課で登録すると配布されるバッチ所持意味の再確認。 【DVD 鑑賞】 ・地域猫活動や地域での協力の仕方、不妊手術をする意味などを学ぶ。 ・各地で放映される地域猫活動と獣医師などの経験を参考に学ぶ。 【お悩み相談】 ・一人での活動での限界。 ・自ら活動が出来ないなど。 ・高齢者が家族としているペットの飼育計画や間違った地域猫活動の修正。 【外部経験者】 ※相談会全 27 回（予定）のうち 3 回のみ ・外部の地域猫活動経験者や団体の代表の方などからの講義。 <p>（郵便物発送）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談会のお知らせを定形郵便で希望者、配布協力者等へ発送。 ・周知チラシの配布協力者への発送。 <p>2 スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="411 808 1428 1261"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備</td> <td>各地域包括支援センターへ打ち合わせ訪問。</td> <td>15 か所の地域包括支援センターとの実施計画打合せ。</td> </tr> <tr> <td>随時</td> <td>お知らせ発送</td> <td>宛先リストアップ、確定 発送対象：希望者、配布協力者等</td> </tr> <tr> <td>4 月～3 月</td> <td>周知活動(12 回)</td> <td>チラシ作成、配布</td> </tr> <tr> <td>4 月～3 月</td> <td>地域猫相談会 (12 回) 地域包括支援センター協力(15 回)</td> <td>体制：3 名 対象：松戸市民 場所：公共施設（市民会館、市民センター、町会の会館等）</td> </tr> <tr> <td>3 月</td> <td>ふりかえりアンケート集計</td> <td>集計対象：これまでの参加者</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	準備	各地域包括支援センターへ打ち合わせ訪問。	15 か所の地域包括支援センターとの実施計画打合せ。	随時	お知らせ発送	宛先リストアップ、確定 発送対象：希望者、配布協力者等	4 月～3 月	周知活動(12 回)	チラシ作成、配布	4 月～3 月	地域猫相談会 (12 回) 地域包括支援センター協力(15 回)	体制：3 名 対象：松戸市民 場所：公共施設（市民会館、市民センター、町会の会館等）	3 月	ふりかえりアンケート集計	集計対象：これまでの参加者
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																	
準備	各地域包括支援センターへ打ち合わせ訪問。	15 か所の地域包括支援センターとの実施計画打合せ。																	
随時	お知らせ発送	宛先リストアップ、確定 発送対象：希望者、配布協力者等																	
4 月～3 月	周知活動(12 回)	チラシ作成、配布																	
4 月～3 月	地域猫相談会 (12 回) 地域包括支援センター協力(15 回)	体制：3 名 対象：松戸市民 場所：公共施設（市民会館、市民センター、町会の会館等）																	
3 月	ふりかえりアンケート集計	集計対象：これまでの参加者																	
<p>既存の事業からステップアップする部分 （ステップアップ助成のみ）</p>	<p>助成事業での活動がお陰様で 2 年度目になります。今、増えている問題は高齢者が飼っていた動物の放棄、病気で入院してしまい、最期まで面倒が看られなくなるなど不幸な動物が増えている現実を目の当たりにしています。それも屋外猫が増える事につながるのです。僕達は高齢者支援課の通所型『元気応援くらぶ』で集まりの場所も開催していて、そこでも同じ内容の相談を多く耳にします。また、高齢者支援課の御協力により地域包括支援センターに当団体の紹介をして頂き、地域包括支援センターが主催した地域づくりフォーラムというイベントを主催側になり参加して、僕達の活動を知っていただく最高の機会だと感じました。高齢者からの相談を多く受けているため、本事業は地域包括支援センターと協力して実施します。</p>																		
<p>事業の目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談会 1 回の参加人数 10 名以上（市民センター） ・相談会 1 回の参加人数 15 名以上（地域包括支援センター協力時） ・アンケートで「地域猫活動を理解した」を 80% 以上。 																		
<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談会の参加をきっかけに地域猫活動の実践者を増やす事で、より多くの市民に役立つ情報を共有し、実践につなげてもらいたい。 ・多くの市民の皆様を知っていただければ、もっと結果が出るのは分かるので、周知を主に力を入れる考えです。 																		

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 134,100	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (A)	¥ 134,100	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 434,100	

【支出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	使用料及び賃借料	¥ 53,700	・会議室 270円*5時間*12回 ・500*5時間*15回
	報償費	¥ 15,000	・外部経験者謝礼 5000円*3回
	印刷製本費	¥ 100,000	・チラシ印刷費 25000円 (A3-5円*5000枚) 40000円 (A4-2円*20000枚) ・パンフレット印刷費 35000円 (5000枚)
	消耗品費	¥ 18,000	・OA用紙・インク代・コロナ対策衛生品・ペン等の文具
	食糧費	¥ 41,400	・参加者用茶菓子 120円*10名*12回・120円*15名*15回
	通信運搬費	¥ 24,000	・定形郵便物 50g以内 94円*200通 ・レターパック520円*10 (配布協力者)
	委託料	¥ 74,000	・チラシ配布委託 20000枚 (3.7円*20000)
	保険料	¥ 27,000	・行事保険料 (1000円*27回)
対象経費の合計 (D)		¥ 353,100	
(その他経費 対象外)	交通費	¥ 40,500	構成員交通費 500*3人*27回
	食糧費	¥ 40,500	構成員昼食代 500*3人*27回
	その他経費の合計額 (E)	¥ 81,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 434,100	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成
事業番号 4
ステップアップ助成

プレママ教室事業

ぶぶぶママ大学

事業計画書

事業名	プレママ教室事業
団体名	ぶぶぶママ大学

事業概要	
<p>プレママ・プレパパ教室で、妊婦期から胎児への早期愛着形成を支援し、産後鬱やわが子への虐待を予防する。愛情ホルモンの『オキシトシン』をビジュアル講座と対面講座と冊子の作成・配布で拡げていく。</p>	
<p>取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）</p>	<p>今日、わが子への虐待が大きな社会問題になっています。</p> <p>『わが子虐待の早期発見と早期教育に関する考察、母子の愛着形成とわが子虐待の予防』の研究では、まだ研究途中とありましたが、妊婦中から胎児への愛着形成を支援してもらう機会に恵まれるとわが子虐待の世代間伝達を克服できると示唆されたとありました。また、わが子虐待の予防に向けた早期教育として、胎児への愛着形成の援助の重要性が示唆されたとありました。</p> <p>アメリカでは2018年に実施された調査で、4割の子どもに愛着形成ができていないと発表されました。この愛着の調査と、先進国で「自己肯定感」が最も低い日本の現状からも日本人の愛着形成が危惧されると考えます。</p> <p>愛情ホルモンと呼ばれているオキシトシンの認知度が低いので、拡げていきたいです。</p> <p>上記の状況を、お腹の中からの子育てとしてプレママプレパパ教室の活動で愛着形成（母子の絆）の芽生え（土台）となるよう働きかけ、より良い出産とより良い育児のスタートとなるよう活動します。親子の愛着形成を築き『自分のことが大好き』と思える自己肯定感の豊かな子どもに育てる支援をします。</p>
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・プレママプレパパに胎教=胎響を支援することで、お腹の赤ちゃんを感じる思いが愛着形成の芽生え（母子の絆の土台）となり、妊婦期間が明るく楽しく過ごせるように支援していきます。 ・産後の赤ちゃんのお世話を丁寧に情報提供し、産後の予習になるよう支援します。 ・産後の相談場所や産後のサポートの種類を産前にお伝えし、いざと言うときの気持ちの準備をします。
事業内容	<p>1 事業内容</p> <p>(1) コロナ禍のため、妊婦さんの安全を考慮し、毎月4回シリーズのビジュアル講座（動画配信）を申込みされた方限定に配信します。</p> <p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先輩ママ経験談・先輩パパ経験談・赤ちゃんのお世話の気持ちの準備・赤ちゃんの沐浴やお世話の仕方・妊婦期の食事のアドバイス・赤ちゃんとの遊びの紹介・わらべうた胎教マッサージ・愛着形成や赤ちゃんの睡眠・手作り抱っこ紐講座・妊婦さんへ絵本の読み語り ・愛着と胎教と母乳育児をPRする冊子を作成する。配布先は講座参加者、産婦人科、小児科など。 <p>(2) 年に4回対面型のプレママプレパパ教室を開催</p> <p>〈内容〉</p> <p>場所・金ケ作熊野神社にて、『赤ちゃん和家人のためのお祝い行事のお話』を神主さんから、『母乳育児の気持ちの準備のお話』を助産師さんからしていただきます。</p>

	<p>◎ビジュアル講座も対面講座も毎回アンケートを実施し参加者のご意見を収集します。</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月初旬</td> <td>PR 冊子作製</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4月 10月</td> <td>(前期) 動画制作 (後期) 動画制作</td> <td>撮影場所：新松戸市民センター 出演者：構成員・先輩パパママ 撮影協力、編集を委託</td> </tr> <tr> <td>毎月</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアル講座配信（毎月4回） ・毎月2回まつどDE子育てLINE掲載 ・ポスターやチラシを公共施設や産院に配架 ・地域回覧板に挿入のお願い ・ホームページやフェイスブックやツイッターで周知 </td> <td> ユーチューブ ＊対面実施の場合、新松戸市民センター </td> </tr> <tr> <td>6、9、11、3月</td> <td>対面講座予定</td> <td>金ケ作熊野神社(外部講師：金ケ作熊野神社神主、助産師)</td> </tr> </tbody> </table> <p>*コロナ禍に収束がみられ、対面講座が実施可能な場合は、後期講座は対面での講座を実施する。その場合、月1回対面講座、月3回ビジュアル講座とし、月4回活動する。</p>		実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4月初旬	PR 冊子作製		4月 10月	(前期) 動画制作 (後期) 動画制作	撮影場所：新松戸市民センター 出演者：構成員・先輩パパママ 撮影協力、編集を委託	毎月	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアル講座配信（毎月4回） ・毎月2回まつどDE子育てLINE掲載 ・ポスターやチラシを公共施設や産院に配架 ・地域回覧板に挿入のお願い ・ホームページやフェイスブックやツイッターで周知 	ユーチューブ ＊対面実施の場合、新松戸市民センター	6、9、11、3月	対面講座予定	金ケ作熊野神社(外部講師：金ケ作熊野神社神主、助産師)
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など															
4月初旬	PR 冊子作製																
4月 10月	(前期) 動画制作 (後期) 動画制作	撮影場所：新松戸市民センター 出演者：構成員・先輩パパママ 撮影協力、編集を委託															
毎月	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアル講座配信（毎月4回） ・毎月2回まつどDE子育てLINE掲載 ・ポスターやチラシを公共施設や産院に配架 ・地域回覧板に挿入のお願い ・ホームページやフェイスブックやツイッターで周知 	ユーチューブ ＊対面実施の場合、新松戸市民センター															
6、9、11、3月	対面講座予定	金ケ作熊野神社(外部講師：金ケ作熊野神社神主、助産師)															
既存の事業からステップアップする部分	<p>年12回の対面プレママプレパパ教室から、毎月4回配信のビジュアル講座と年4回のプレママプレパパ対面教室へ移行し、より細やかな説明から多くの人に愛着形成を知ってもらう機会を増やします。</p> <p>今年度はコロナの影響で、知人の協力を得て急遽動画制作のお手伝い頂き、ビジュアル講座を実現させました。</p> <p>来年度は、4月に動画撮影をし、5月から毎月4回のビジュアル講座を配信し、年4回の対面講座を開催します。</p> <p>内容の充実では、先輩ママパパの経験談を新たに6人（ママ3人・パパ3人）増やし、母乳育児のコーナーや、パパ向けの育児や産褥期のママのサポートの講座を増やします。</p> <p>冊子を作成し、愛着形成を促す胎教(胎響)を知ってもらうことで妊婦期から胎児に気持ちを向けることができます。</p>																
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジュアル講座の視聴参加を、一回を10人以上 ・対面講座の参加人数を、毎回8人以上 ・アンケートを毎回取り、妊婦さんの心配事を救い上げ、すぐに対処し解決に向かうようにします。ケースに寄っては専門機関に繋げるなど配慮します。 ・地域の方、乳幼児向けの活動をしている方、保育学生、保育士さん、看護学生、看護師さんや助産師さん、産後ドゥーラさん、産院や小児科医関係者に活動を知ってもらい、会員協力を募ります。（30人以上） 																
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・産後のママやパパに、今後は先輩ママパパとして、講座に経験談を話しに来てもらいます。 ・産後の会と母乳育児の会を作りサポートしていきます。 																

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科目	金額	積算内訳
団体	事業収入	¥ 16,000	500円(参加料)×8人×4回
	団体拠出金	¥ 63,440	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額(A)	¥ 79,440	
市	市民活動助成金(B)	¥ 300,000	
合計額(C) = (A+B)		¥ 379,440	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 100,000	対面講座外部講師謝礼10000×4回、15000×4回
		¥ 12,000	先輩パパママ出演謝礼(2000円×6人)
	消耗品費	¥ 10,000	模造紙、インク、コピー用紙、折り紙
	食料費	¥ 1,400	講師と出演者水代、100円×14人
	印刷製本費	¥ 120,000	チラシ印刷(10円×6000部=60000円) 冊子印刷(300円×200部=60000円)
	委託料	¥ 100,000	動画撮影協力及び編集委託料50000円×2期分(前期・後期)
	通信運搬費	¥ 13,160	切手代金94円×140枚(冊子郵送用)
	使用料及び賃借料	¥ 8,180	撮影会場使用料(710円×3h×2日=4260円) (490円×4h×2日=3920円)
		¥ 14,700	新松戸市民センターなど(後期対面講座実施の場合)
対象経費の合計(D)		¥ 379,440	
その他経費			
	その他経費の合計(E)	¥ 0	
合計額(F) = (D+E)		¥ 379,440	

【チェック項目】

- 1 助成金(B)が対象となる経費(D)欄の90%以内、自己資金(A)欄が対象経費(D)欄の10%以上であること。
- 2 助成金(B)が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。

市民活動助成
事業番号 5
ステップアップ助成

親子で安心、子ども達が楽しく育つ居場所づくり事業

なないろのもり

事業計画書

事業名	親子で安心、子ども達が楽しく育つ居場所づくり事業
団体名	なないろのもり

事業概要	
<p>コロナ禍で学校行事や地域のイベントなどの中止が相次ぎ、子どもの発達期に必要な経験や出会いの機会が奪われている。子ども達のメンタルヘルスを最優先に子ども達や子育て世代の家庭に寄り添う地域コミュニティを構築し、親子一緒にも参加できる、子ども達の楽しい長期休みの思い出づくりの機会や学校と家庭以外の安心できる居場所づくり。</p>	
<p>取り組もうとする松戸市のテーマ（課題）</p>	<p>コロナ禍における子ども達の生活と健康の様子について今年8月に発表された国立成育医療センターのコロナ×こどもアンケートで、約75%の子ども達にストレス反応や症状があったと発表されました。</p> <p>学校再開後も感染対策、授業時間を取り戻すことが最優先され、子ども達にとって大きな楽しみである運動会、修学旅行などの行事は中止。夏休みも短縮され、代替イベントもなく、子ども達のメンタルケアは後回しになってしまっています。コロナ禍で外部とのコミュニケーションも遮断され、子ども達は友だちとの交流の機会を奪われてしまいました。また、その影響から、閉鎖的な生活をおくっている子育て世代も多いです。学校が再開されても、子ども達は規制やガマンが多く、その不安、ストレスが今後、心身にもたらす影響が心配な状況は続いています。</p> <p>松戸市は、2019年も日経 DUAL の共働き子育てしやすい街ランキング全国2位に選ばれ、待機児童4年連続ゼロや預かり保育、放課後児童クラブやKIDSルームの充実など支援が確実に進んでいますが、同年3月に発表された松戸市の子ども・子育て支援に関するアンケート調査において、施設の利用や環境への充実度を感じているのは、低年齢の子ども達やその子育て世代に集中していて、子ども達からは、「放課後に友だちとおしゃべりしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごしたりできる場所や施設を増やすこと」を望んでいる声が多く、「これからも松戸市に住み続けたいか」の回答は年齢があがるにつれ減少しています。大人目線での子育てのしやすさが優先されるのではなく、子ども達にとっての住みやすさも確保され、子育て世代全体にやさしい街づくりが求められていると考えます。</p>
事業の目的	<p>子ども達の家庭や学校、習い事以外の遊び・学びの場づくりを目的とします。親子一緒でも参加できるイベントや居場所を開催し、子どもも大人も一緒に楽しく過ごす時間を共有することで、子ども達は安心し、親たちは子育ての楽しさを実感できます。コロナ禍による閉塞感漂うこんな時こそ、そういった時間が必要不可欠ではないでしょうか。</p> <p>また、今後コロナの感染状況が、どのような状態であっても、安全第一に柔軟に対応できるように準備し、体制を整えていきたいです。</p>

<p>事業内容</p>	<p>1 事業内容</p> <p>① 子ども達の好奇心を育み親子で一緒に参加できる夏休みワークショップ ・地域の大人達が講師となるワークショップの開催 (調理・農業・運動・音楽など幅広いジャンルの各専門家に依頼) ・参加方法は各家庭の都合やその時の社会情勢に合わせて選択が可能 (近隣施設での講座・ZOOMを使用したオンライン講座・動画配信など)</p> <p>② 子ども達と子育て世代の居場所づくり (月 1.2 回程度) ・子ども達と親子の遊び場の開催 ・クリスマスフェスティバルで披露するパフォーマンスの練習 (音楽・ダンス・マジックなど)</p> <p>③ 従来の親子参加型イベントに子どもが達成感を得られるコーナーの追加 ・夏休み→夏まつり会場でワークショップで作成した作品の展示会 ・冬休み→クリスマスフェスティバルでパフォーマンス発表会</p> <p>2 スケジュール</p> <table border="1" data-bbox="443 819 1406 1350"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>具体的な取り組み</th> <th>実施体制、対象、場所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4～7月</td> <td>イベント準備・講師・スタッフ・会員募集</td> <td>リーフレット・チラシ作成、配布・講師打ち合わせ講座準備</td> </tr> <tr> <td>7.8月</td> <td>① 夏ワークショップ ② 夏まつり開催</td> <td>サポセンや近隣の施設など(講師/外部6名、ママ4名・見守り10名)</td> </tr> <tr> <td>9～12月</td> <td>② 居場所の開催</td> <td>サポセンや施設(月1.2回・パフォーマンス講師3名/見守り12名)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>イベント準備・出展者や協賛者の募集、周知</td> <td>チラシ作成、近隣の教育施設や商店どへ配布</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>③ クリスマスフェスティバル開催</td> <td>サポセン、音響設備が整った施設(イベントスタッフ10名)</td> </tr> <tr> <td>1～3月</td> <td>ふりかえり</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など	4～7月	イベント準備・講師・スタッフ・会員募集	リーフレット・チラシ作成、配布・講師打ち合わせ講座準備	7.8月	① 夏ワークショップ ② 夏まつり開催	サポセンや近隣の施設など(講師/外部6名、ママ4名・見守り10名)	9～12月	② 居場所の開催	サポセンや施設(月1.2回・パフォーマンス講師3名/見守り12名)		イベント準備・出展者や協賛者の募集、周知	チラシ作成、近隣の教育施設や商店どへ配布	12月	③ クリスマスフェスティバル開催	サポセン、音響設備が整った施設(イベントスタッフ10名)	1～3月	ふりかえり	
実施月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など																				
4～7月	イベント準備・講師・スタッフ・会員募集	リーフレット・チラシ作成、配布・講師打ち合わせ講座準備																				
7.8月	① 夏ワークショップ ② 夏まつり開催	サポセンや近隣の施設など(講師/外部6名、ママ4名・見守り10名)																				
9～12月	② 居場所の開催	サポセンや施設(月1.2回・パフォーマンス講師3名/見守り12名)																				
	イベント準備・出展者や協賛者の募集、周知	チラシ作成、近隣の教育施設や商店どへ配布																				
12月	③ クリスマスフェスティバル開催	サポセン、音響設備が整った施設(イベントスタッフ10名)																				
1～3月	ふりかえり																					
<p>既存の事業からステップアップする部分 (ステップアップ助成のみ)</p>	<p>平成 30 年度、前年度とコロナ禍において縮小せざるを得ない状況もありましたが、活動の中で子ども達がのびのびと楽しく、安全に過ごせる学校や家庭以外の居場所の需要と必要性を実感しました。今までの事業をさらに定着させつつ、また、コロナ禍で閉塞感漂う今だからこそ、子ども達のメンタルヘルスを最優先できるような居場所を確立し、継続的に子ども達と子育て世代の家庭と繋がっていけるようにしていきたい。そして、今回のような未曾有の事態が起きても、柔軟に、新しい生活様式においても対応できるように、参加スタイルに選択肢をもたせるようなシステムの構築を目指したい。</p>																					
<p>事業の目標</p>	<p>① 講座、ワークショップへの参加人数=80 人 ② パフォーマンスグループ=1～3 グループ (延べ 15 人) ③ イベント延べ参加人数=500 人</p>																					
<p>今後の展望</p>	<p>この事業を通して、なないろのものが日常的に子ども達や子育て世代を中心に安心して通える居場所、また地域の様々な年齢層の方々とつながれる場所として定着し、年齢も環境も様々な人が集まる場所でコミュニケーション能力を育む機会を持つことで、子ども達は視野を広げのびのびと成長し、親も同様に様々な多様性に目を向ける機会を得ることで、広い視野で子育てでき、我が子の良いところを再発見し、楽しく子育てできる街にしていきたい</p>																					

事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

	科目	金額	積算内訳
団体	事業収入	¥ 20,000	会員年間登録料1000円×20名 (保険料含む)
		¥ 80,000	ワークショップ参加費 1000円×80名
		¥ 12,000	夏まつりあそび券300円×40名 12000円
		¥ 56,000	サポーター年間登録料 個人1口2000円×8名 企業1口5000円×8名
		¥ 30,000	居場所 パフォーマンススレッズン講師料500円×4回 15名
	自己資金の合計額 (A)	¥ 198,000	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 300,000	
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 498,000	

【支出】

	科目	予算額	積算内訳	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 194,000	ワークショップ外部講師謝礼10000円×6名 ママ講師謝礼5000円×4名 居場所・イベント外部パフォーマンス講師謝礼5000円3名×4回 見守りスタッフ謝礼2000円×22名 イベントスタッフ謝礼1000円×10名	
	委託料	¥ 25,000	イベント・宣伝チラシデザイン制作費5000円×4 イベント装飾製作費5000円	
	消耗品費	¥ 110,500	動画撮影用照明9900円 動画撮影用三脚9900円 プリンターインク8000円×3 イベント消耗品10000円 (ガムテープ養生テープ他) 夏イベント装飾10000円 Xmasイベント装飾10000円 模造紙3000円 コピー用紙1500円 カラー用紙110円×20部 感染防止対策グッズ30000円 (消毒液10000円 予備マスク2500円 体温計5000円 透明シート・支柱他)	
	印刷製本費	¥ 51,100	イベントチラシ夏・Xmas・居場所 (4000枚) 26000円 イベント会場案内 (外看板) 横断幕12100円 なないろのもり年間リーフレット (2000枚) 13000円	
	使用料及び賃借料	¥ 38,000	イベント打合せ・準備施設使用 動画撮影施設使用 (多目的ホール他) zoom有料版使用料2200円×6ヶ月	
	保険料	¥ 14,000	イベント保険 全イベント延べ500人×28円	
	食糧費	¥ 10,200	ワークショップ参加者 水100円×80人 ワークショップ・居場所 全講師 お水100円×22人	
		対象経費の合計 (D)	¥ 442,800	
	その他経費	報償費	¥ 23,000	内部講師料3000円×1名 見守り内部スタッフ料2000円×5名 (2回)
食糧費		¥ 8,200	イベントスタッフお弁当500円×10名 お水100円×32名	
交通費		¥ 9,000	イベントスタッフ交通費500円×10名 ガソリン代1000円×4名	
通信費		¥ 15,000	連絡・雑務3000円×5名	
		その他経費の合計 (E)	¥ 55,200	
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 498,000		

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。